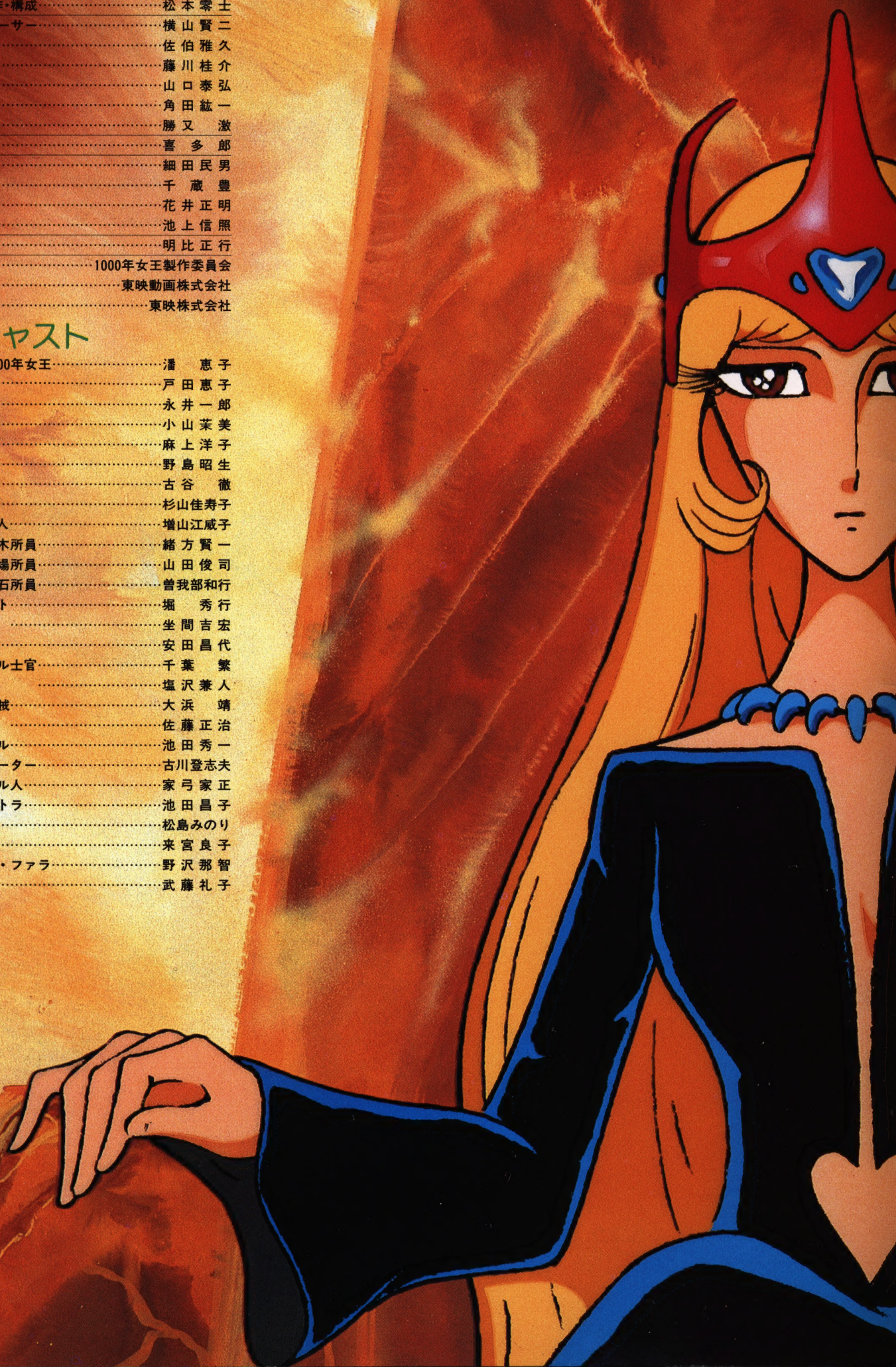
1000年女王

♥スタッフ

製作総指揮……今田智憲
企画・原作・構成……松本零士
プロデューサー……横山賢二
製作担当……佐伯雅久
脚　本……藤川桂介
作画監督……山口泰弘
美術監督……角田紘一
〃……勝又激
音　楽……喜多郎
撮影監督……細田民男
編　集……千蔵豊
〃……花井正明
録　音……池上信照
監　督……明比正行
製　作……1000年女王製作委員会
製作協力……東映動画株式会社
配　給……東映株式会社

♥キャスト

弥生・1000年女王……潘恵子
雨森始……戸田恵子
雨森教授……永井一郎
新女王……小山茉美
セレン……麻上洋子
雨森元……野島昭生
夜森大介……古谷徹
ミライ……杉山佳寿子
永久管理人……増山江威子
天文台青木所員……緒方賢一
天文台馬場所員……山田俊司
天文台白石所員……曽我部和行
パイロット……堀秀行
〃……坐間吉宏
カルデラ……安田昌代
ラーメタル士官……千葉繁
〃……塩沢兼人
1000年盗賊……大浜靖
〃……佐藤正治
ハンニバル……池田秀一
コンピューター……古川登志夫
ラーメタル人……家弓家正
クレオパトラ……池田昌子
ヒミコ……松島みのり
楊貴妃……来宮良子
ドクター・ファラ……野沢那智
ラーレラ……武藤礼子

♥あなたも雪野弥生と同じ世界へ…

企画・原作・構成　松本　零士

今回の「1000年女王」というのは、全く新しい構想をたてて作りあげたものです。999の次だから、1000だという安易な発想ではありません。

もともと、歴史的な見地から、ヒミコやクレオパトラ、楊貴妃といった一連の女王というものに興味をもっていましたが、それをまとめて、1000年に1度生まれかわり、さりげなく地球の過去から未来までの人間の歴史を、責任をもって宿命を背おって生きているという女性がいたら面白いだろうと考えていました。

テレビでは、サブ・タイトルに「新・竹取物語」とついているように、今回の1000年女王というのは、かぐや姫がはじまりでそれから1000年、つまり1999年まで、地球を治める女王として登場するわけです。しかし、その本当の正体はラストまで分かりません。

テレビシリーズとこの劇場用映画は根本的にドラマ設定、テーマ、ストーリーとも大巾に異り、大スクリーンに耐えうる大サスペンスに仕上っています。

最も違う点は、最初から最後まで、1000年女王＝雪野弥生にカメラが密着していることで、そのため弥生の秘密は最初から皆さんの前に現われます。弥生の眼から、いろいろな世界を見る物語となっています。

「1000年女王」のテーマは、〝自然への思いやり〟です。

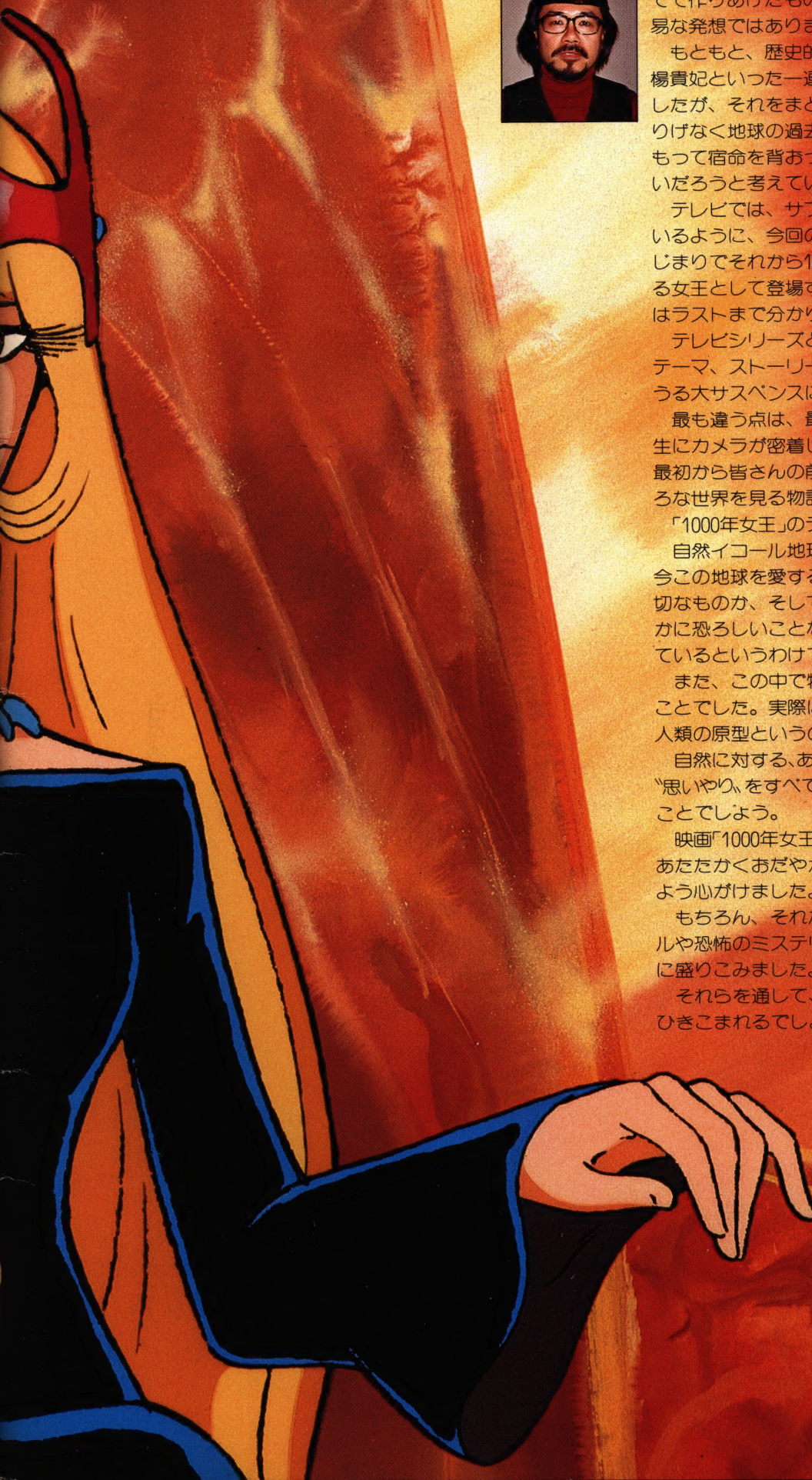
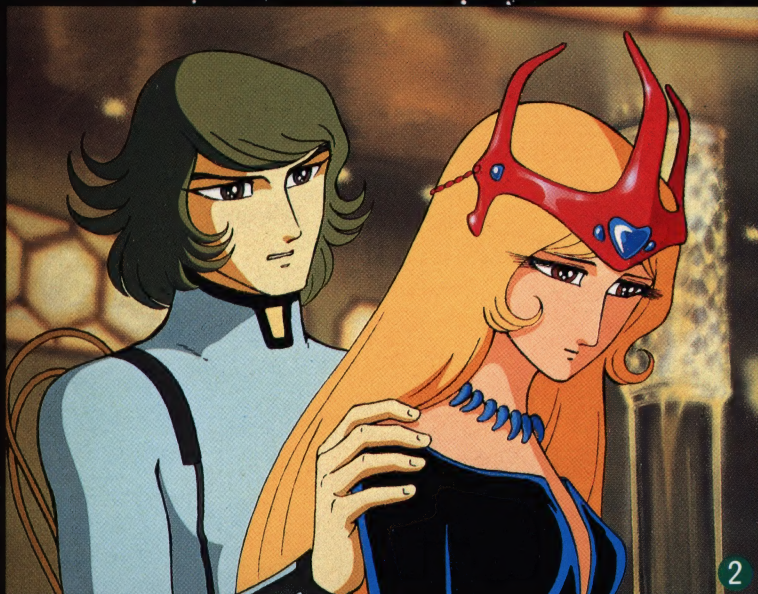
自然イコール地球上のすべての生物、美しい緑、空、海。今この地球を愛するという思いやりや気持ちがどんなに大切なものか、そしてそれを汚してしまうということは、いかに恐ろしいことなのか、その責任を1000年女王が背負っているというわけです。

また、この中で特に描きたいことは、〝やさしさ〟ということでした。実際には、人類の歴史は戦いの連続でしたが、人類の原型というのは〝やさしさ〟にあふれていたはずです。

自然に対する、あるいは人や動物に対する〝やさしさ〟や〝思いやり〟をすべての人がもつことは、どんなに素晴らしいことでしょう。

映画「1000年女王」は、この〝やさしさと愛〟につつまれた、あたたかくおだやかなムードを楽しんでもらう作品になるよう心がけました。

もちろん、それだけでは物足りない人には大スペクタクルや恐怖のミステリー、アッと驚くサスペンスもふんだんに盛りこみました。

それらを通して、皆さんは雪野弥生と同じ世界に必ずやひきこまれるでしょう…

衝撃と感動のミステリー・ラブロマン！

'77年の「宇宙戦艦ヤマト」に始まったアニメーション・ブームは、'79年の「銀河鉄道999」を頂点として、今や劇場用映画の1ジャンルとして定着した。

その中でも、アニメ・ファンはもとより、ヤングの心をとらえて5年連続大ヒットをとばしているのが、ご存知の松本零士の作品である。

他の作品にはない、松本零士の世界の独得のロマンとやさしさ、ファンタスティックなムードが、いつの世も変わらない若者たちのハートをとらえ、共感を呼んでいるのだろう。

その松本零士が999に続く超スケールのミステリー・ラブロマンとして挑んだのが、この「1000年女王」である。

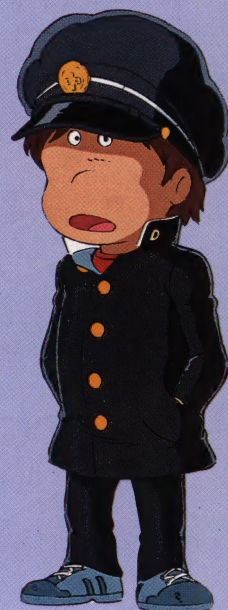
現在、テレビシリーズ及び新聞連載中でファンを沸かせているこの物語を、ガラリ180度内容を変え、劇場用映画としてのスケールとスペクタクル、ミステリーとラブロマンスに重点をおき作りあげた。アニメとしては、かつてないサスペンスとショックにみちた意欲作である。

「1000年女王」―それはこの地球上に姿、形をかえて住む異星ラーメタルからの使者で、地球を治める役目と責任をおっている世にも美しいといわれる女性だ。しかしその本当の姿を見た者はだれもいないという多くの謎にみちている。1000年に1度交代し、その足跡は過去何世紀にもわたっている。古くはヒミコ、クレオパトラ、楊貴妃など、世界史上有名な女王はみな、歴代の1000年女王だった。

こういった大構想をもとに、かぐや姫の昔から20世紀の今日まで千年の間、地球を治めてきた1000年女王が、この映画のヒロインとして登場する。

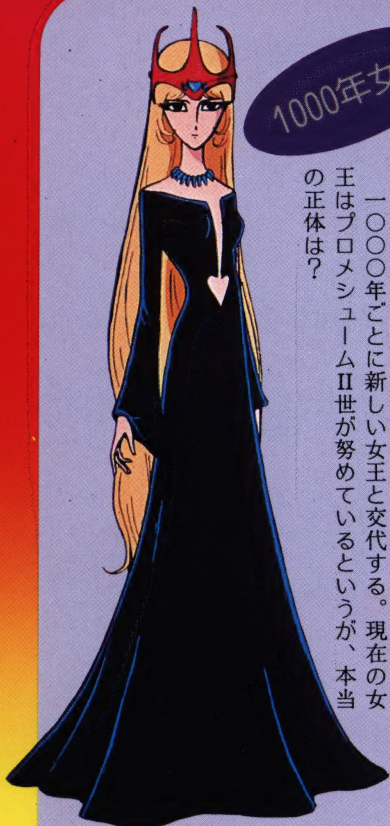
1999年、遠い宇宙の遊星ラーメタルが地球に接近、あと180日後に衝突するという事件が発生、地球上は大混乱をおこす。
ヒロイン雪野弥生（実は1000年女王）は学校の教師をしながら、筑波天文台の仕事をしているが、母星ラーメタルの動きに驚き真相を探ろうとする。しかし、何も知らされないまま新1000年女王との交代を宣告される。その時から弥生は、波乱の運命の渦にまきこまれていく。
そんな弥生が想いをよせるのが、母星ラーメタルの若き指導者ドクター・ファラだ。２人の甘く切ないラブロマンス、そして弥生を恋する部下の夜森大介。それぞれの愛の切なさをもりこみながら、ドラマは巨大SFミステリーとして進行していく。
その他の登場キャラクターには、弥生の教え子雨森始や叔父の雨森教授、弥生の妹セレン、そしてラーメタルの指導者ラーレラ、歴代1000年女王の墓守りミライなどが登場する。
そこには、さまざまな見せ場とショッキングな場面が展開する。東京の地下が大空洞となっており、関東平野ごとノアの方舟となって宙へ舞いあがるという大スペクタクルや、地球とラーメタルの接近遭遇の大パノラマ・シーン、そして、1000年女王の謎ときのサスペンス、さらにオカルト的タッチのショック・シーン、など盛り沢山となっている。
中でも、思わずギョッとなるラーメタル人の正体や、初めて登場する1000年女王の美しいヌードなど話題になるだろう。
特にラストには、ギクッとするとっておきのシーンが用意されているので、この映画は必ず最初から見ないと興味は半減するだろう。
製作総指揮に今田智憲、企画・原作・構成松本零士、脚本藤川桂介、監督明比正行。そして、音楽を担当するのが、シンセサイザーを駆使して今人気ダントツの音楽家喜多郎が協力し、まさに1000年女王にふさわしい幽玄とロマンの曲を作りあげている。
さらに喜多郎の作った主題歌を唄うのは、60年代の大ヒット曲「恋の片道切符」や「カレンダー・ガール」を歌ったニールセダカの愛娘で17歳のデラ・セダカが「ページス」のバック・コーラスで唄っているのも大きな話題となっている。

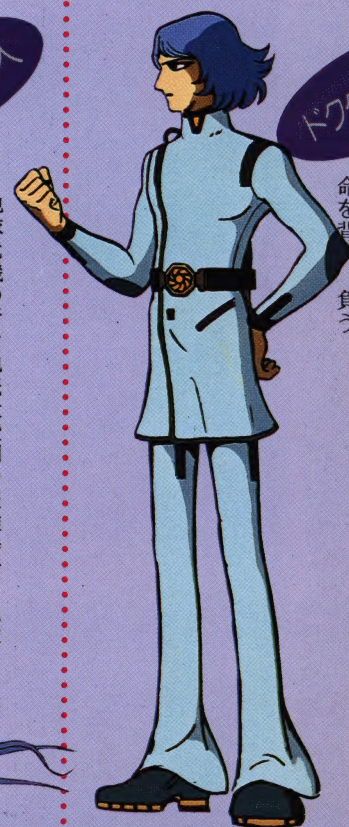
雨森　始

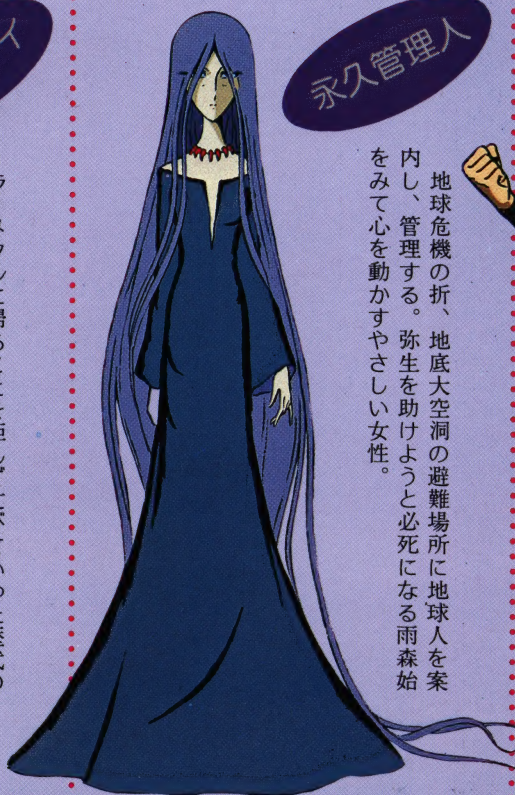
雪野弥生の受け持ちの生徒。成績は悪いがビルの窓拭きをしながら電動顕微鏡を買おうと宇宙に夢をふくらませる純真さと勇気あふれた少年。両親を弥生とセレンの過失によって失い、叔父の雨森教授のところに身を寄せる。

雪野弥生

筑波山天文台の助手と教師をかねている美しい女性。純真で勇敢な教え子雨森始を温かく見守る。実は、ラーメタルからの一〇〇〇年女王だが、だれにもその正体を隠している。

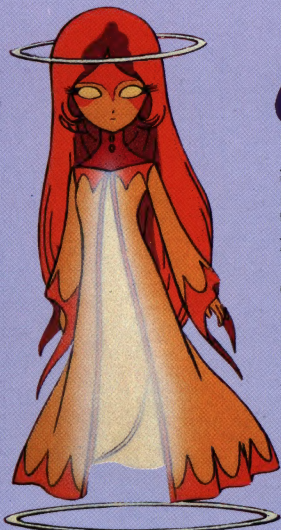
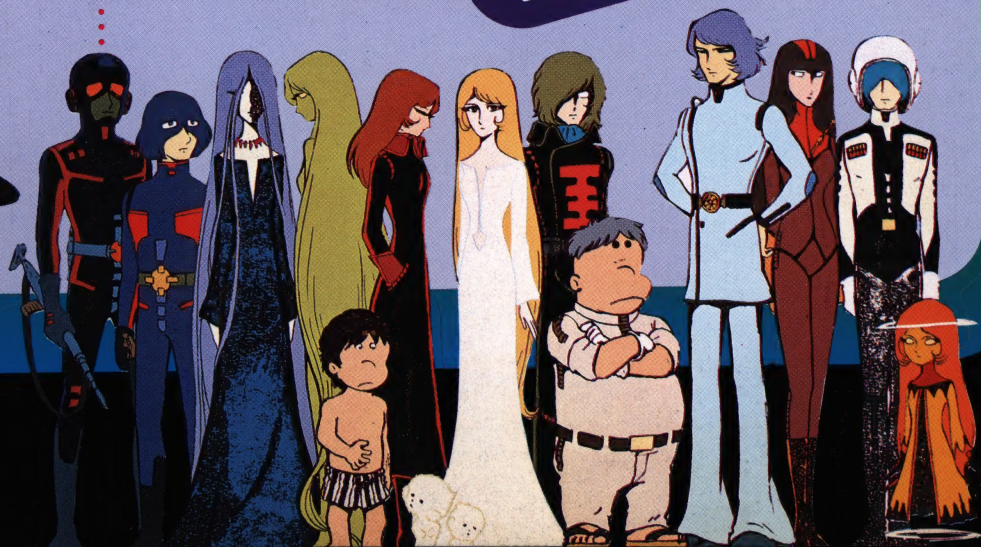
1000年女王

一〇〇〇年の永い間、地球を治めるため遊星ラーメタルから送られた使者。一〇〇〇年ごとに新しい女王と交代する。現在の女王はプロメシュームII世が努めているというが、本当の正体は?

ドクター・ファラ

ラーメタルのすべての権限をラーレラから与えられた若き総指揮官。たくましさの中に貴族的な風貌を持つ。一〇〇〇年女王の恋人。ラーメタル全民族の未来のために、愛しながらも一〇〇〇年女王を騙し続ける運命を背負う。

永久管理人

地球危機の折、地底大空洞の避難場所に地球人を案内し、管理する。弥生を助けようと必死になる雨森始をみて心を動かすやさしい女性。

ミ　ラ　イ

ラーメタルに帰ることを拒んで亡びていった歴代の一〇〇〇年女王の墓守リ。地底空洞の大宮殿に住む。

登場キャラクターの紹介
セレン
雪野弥生の妹。ラーメタル人。弥生がラーメタルにだまされていると信じ、忠告を続ける一〇〇〇年盗賊の首領。
夜森大介
雪野弥生と同じく地球人に姿をかえて筑波山天文台に勤務するラーメタル人。雪野弥生＝一〇〇〇年女王の腹心の部下で、ひそかに弥生を愛しているが、実はドクターファラの直属の部下であり、弥生をあざむいていることに悩み続ける弱さももっている。
雨森教授
筑波山天文台所長。どんなことでも自分で確かめなければ気の済まない行動家。雨森始の叔父だが、ユーモラスな見かけによらず適確な判断をする科学者。
ラーレラ
一〇〇〇年の長楕円周回軌道をめぐる太陽系の遊星ラーメタルの最高指導者。一〇〇〇年に一度訪れる春に、地球に新しい一〇〇〇年女王を送り続け、地球を乗っ取る計画を着々と進める。姿こそやさしいがその中身は？
新・1000年女王
現在の一〇〇〇年女王に交代を迫る新しい女王。

1999年、ラーメタル星と地球が波乱渦巻くサスペンスと大スペ

東京のある高層マンションの一室。教師をしている雪野弥生は、筑波天文台の雨森教授からの電話でおこされた。遊星ラーメタルから帰ってきた探索艇からの結果が出たという知らせだった。彼女はその天文学の知識を買われて、天文台の仕事を手伝っていた。

電話を切ると同時に、隣室から緊張した呼び出し音が響いた。それは、新1000年女王から、交代の宣告だった。

——実は弥生は教師の姿に変えているが、かぐや姫の昔から、1000年の間、地球を見つめてきたラーメタルからの使者1000年女王だった。10世紀ごとに1000年女王の交代の時期があり、1999年の今、その時期がやってきたのだ。

1000年女王の役目—それは地球人にはわからないが、彼らを治めるのが務めだった。

新1000年女王による交代の宣告を、弥生は拒否した。弥生にはまだこの地球でやらなければならないことがあった。

重い心の彼女の前へ突然窓の外からひょっこりと雨森始が顔を出した。始は弥生のうけもちの生徒で、窓ふきのバイトをしながら夢をふくらませる少年だった。

すれ違うように、弥生の妹セレンが入ってきて、ラーメタルが今度の接近で、地球を奪いとる計画だということを打ち明けた。

セレンを見送った弥生は、筑波山天文台へ急いだ。そこで始の叔父、雨森教授からラーメタルの1000年周期の軌道がはずれて、地球と衝突するという大事件がおこること、しかもその期日は、約180日後だということを聞く。

その頃、始の父が経営する鉄工所が、反物質反応を伴った大爆発をおこし、両親が死んでしまう。始は弥生の勧めもあって、叔父さんのいる天文台に身を寄せることになった。

その間にも、ラーメタルは刻一刻、地球に近づきつつあった。そして、木星に近づいた時、氷の下から大宮殿が姿をあらわし、ラーメタルの指導者ラーレラの声が響きわたった。

「よみがえれ——1000年に一度の春がきた。1000年の長い冬の眠りから目覚めよ。永遠の春を手に入れる時がきた——」……。

天文台の所員の一人、夜森大介は、1000年女王の部下として弥生についていた。しかし彼は、いつしか女王にひかれていた。夜遅くマンションに女王を送った彼は、女王に迫ったが、その時通信室から呼びだし音があった。

通信室に入ると、いきなり灯がともり、弥生の前に人影が立った。それは、ホログラフィとして浮かび上ったラーメタルの若き指揮官ドクター・ファラだった。ファラは女王の永遠の恋人だった。懐かしさに抱きしめようとするファラをおしとどめて、弥生は、真実を聞こうとした。しかし、ファラはラーメタル接近の謎を何ひとつ教えてくれなかった。

その時、ラーメタルの隕石帯が地球に接触し、無数の火の玉が地上に落下してきた。

大火球は天文台を直撃、東京も火につつまれた。

始は弥生を助けようとマンションに走ったが、ビルは倒れかかり、弥生の姿はなかった。その時、始の前に黒衣の永久管理人があらわれ、始を地下へ行くエレベーターにのせた。

急降下でエレベーターは地下を通り、突然空中にとびだした。

驚くべき光景がそこにあった。

これこそ、かつて1000年女王が数世紀前に造った大東京直下の避難場所だったのだ。

始は宮殿に案内され、金色に輝く人形のようなミライから、1000年女王に引きあわされる。そこで始は、この地下大空洞はノアの方舟(はこぶね)と同じように、人も動物ものせたまま地球から脱出できることを聞かされた。そして、そこには雨森教授も弥生もいた。

一方、1000年女王は、訪ねてきた妹セレンから、ラーメタルが地球に衝突するというのは、実はニセ情報だと聞かされる。それより、地球に接近したラーメタルはその間に大気の帯の橋をかけ、それを通って一気に地球を占領するという計画だというのだ。

やがて、突然全地球的な規模の大震動がおこった。嵐が巻き起こり、大気が渦巻いた。ラーメタルにも同じ現象が発生していた。そして、双方から大気の帯がのびていきやがて二つの星はつながった。

その時、関東平野の外周部に突然大断層が走り、轟音と共に、大地がゆっくりせり上りはじめた。岩が空を舞い、マグマが天に踊る。そして、ゆっくりと関東平野がもち上っていく。大空洞船、1000年女王率いるノアの方舟が宇宙に向っていく。

そのあとをセレンの司令船が追い抜いていく。セレン、実は1000年盗賊といって、地球人を救おうとしている勇者だ。

一方、ラーメタルからは多数の移民を乗せた大船団が地球を目指していた。1000年女王はその真意を知る為、ホログラフで指揮官のファラに逢いに行った。そこで、ラーメタルが千年の周回軌道を外れ、宇宙の果てに去っていく運命にあることを聞かされる。やはり、セレンの話は真実だったのだ。

始は、嘆き悲しむ弥生を慰めるため精魂こめて作ったブレスレッドをプレゼントした。

外ではセレンが、ラーメタルの移住船の侵入を防ごうと必死の戦闘を繰りひろげていた。しかし、大船団の前に、セレンの船は攻撃を浴び戦塵と化した。

勢いを増したラーメタルの攻撃は、女王の居る空洞船にまで向けられた。

衝突する！クタクル！

愛するファラは私までも殺そうというのか。女王は驚きの中に怒りを感じた。

ラーメタルの攻撃を受けて床に倒れた始を抱きあげた女王の腕に、始がプレゼントしたブレスレッドがあった。始はその時、自分の愛する先生が1000年女王だったことを知った。

更に、空洞船の壁に父の工場のネームプレートを見つけ、父の偉業を知った始は、歴史博物館の零戦を操縦してラーメタルに応戦した。夜森もそれに続いた。しかし、戦闘の中夜森の機は被弾してラーメタルの巨大船に激突。大爆発と共に夜森は絶命した。

始たちの意気込みに感化されて、民衆も武器をとり戦いに参加した。空洞船の上で、ラーメタル人と地球人の死闘が続いていた。

その時、ミライが命をかけて女王に味方した。ミライの体から青い火の玉が渦を巻きながら散り、マグマに飛び込んだ。

そして、中から楊貴妃、ヒミコ、クレオパトラといった歴代の1000年女王たちが現われた。

やがて1000年女王は、ラーメタルの指導者ラーレラのもとへ向った。反逆者である1000年女王に、ラーレラの制裁が下り、命令に服従するような改造を施し、再び地球に送りこもうとした。

ファラの手がまさに改造開始のレバーを引こうとした時、女王を追って来た始の放った銃弾がファラの胸をとらえた。部下を殺されたラーレラは、始を勇気だけの下等動物だとさげすみ、始に迫った。

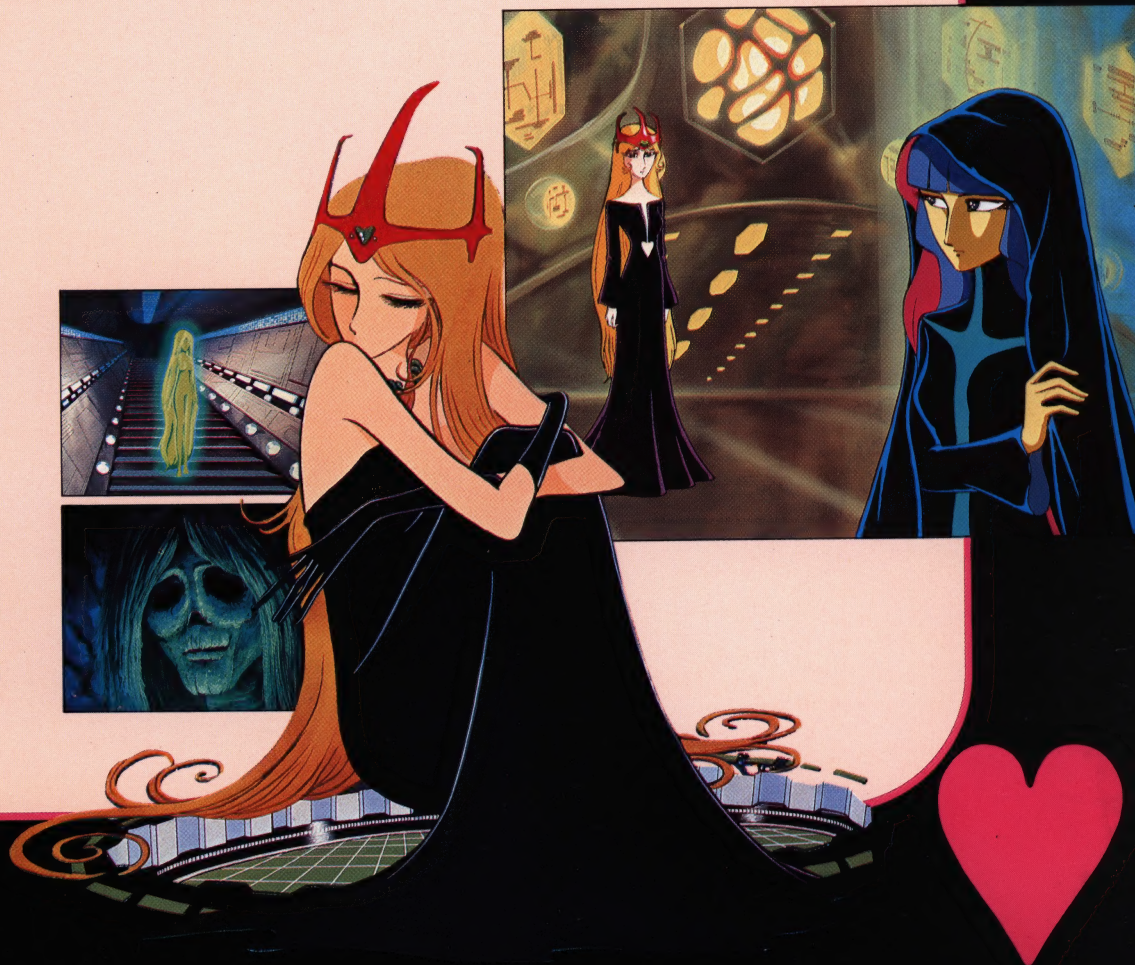
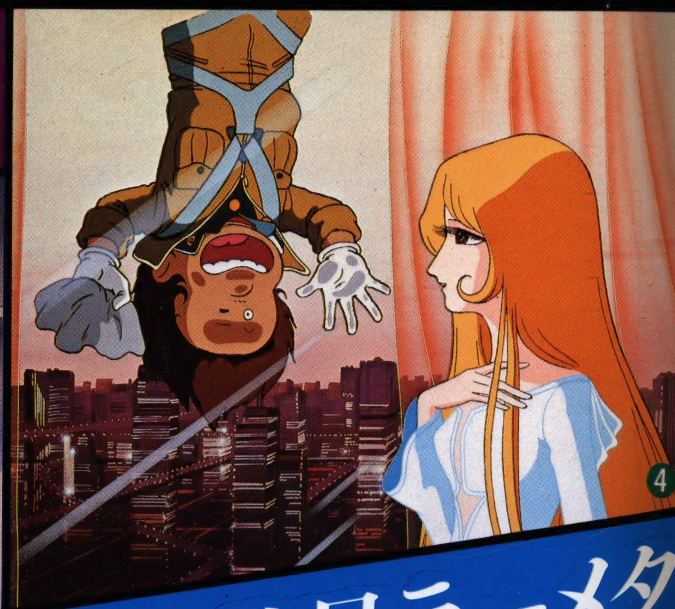
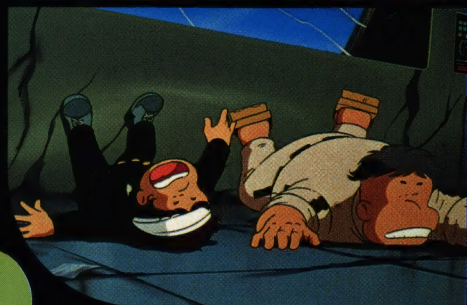
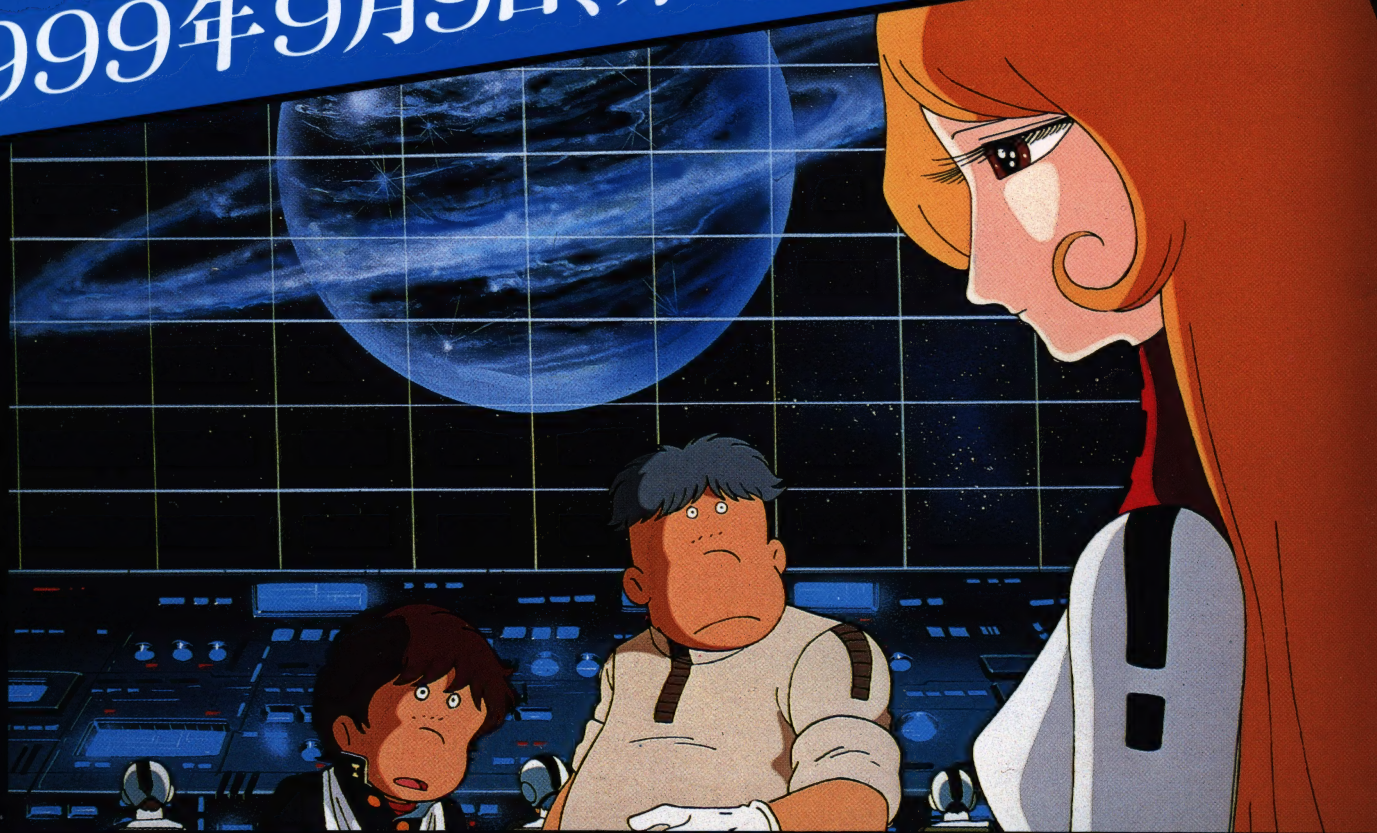
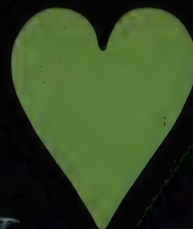
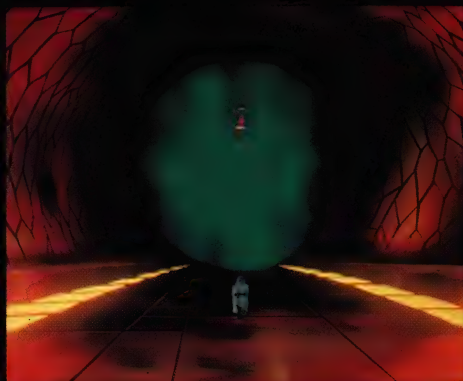
その瞬間、閃光が走リラーレラが倒れた。改造台の上の弥生が必死の思いで放った銃撃だった。ラーレラは怒りに震えながらも最後の力を振り絞って、地球進行を遂行しようとするが、よみがえった歴代女王の執念の体当りの前にあえなく消え去った。

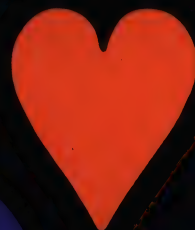
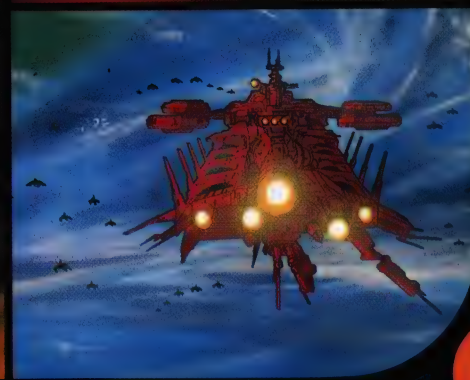
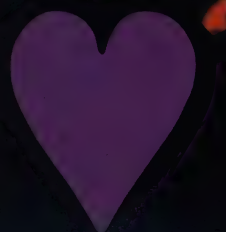
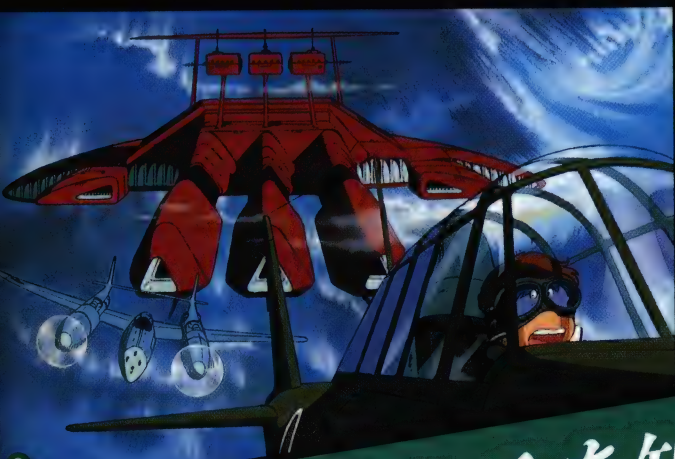
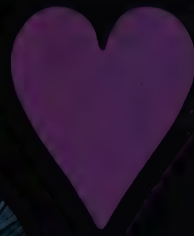
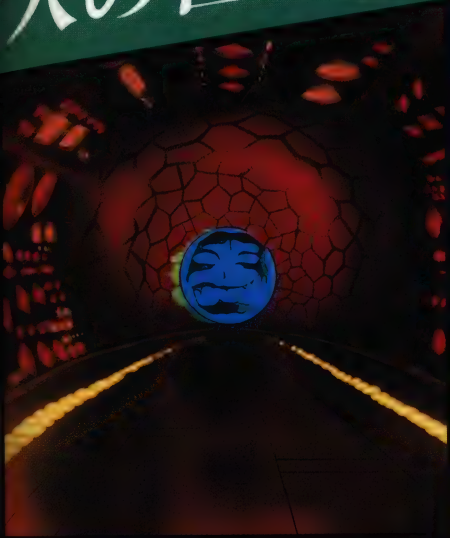
3

ラーメタルの巨大船の崩壊と同時に、大気の橋が消え、空洞船は地上へ降下していった。

静寂を取り戻した地上では、歴代の1000年女王、そして始たちに囲まれて、弥生が臨終の床にあった。弥生は1000年女王としての責任を十分果たせなかったことを恥じ、始の両親を死に至らせたのも自分であると打明けた。始は、地球を愛し、その為に戦った父親の意志を尊重して弥生を許すのであった。

弥生は、静かにそして安らかに、再び帰ることのない旅に出た。歴代の女王たちは、始に地球を二度と汚すことのないように告げて去っていった。

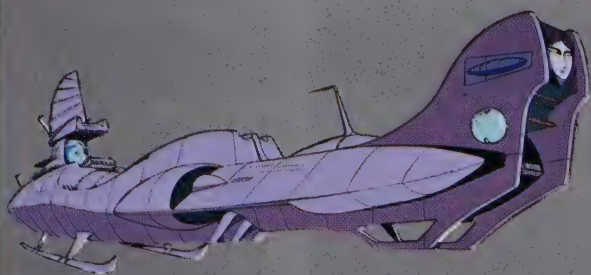
やがて荒廃した都会に、柔らかな朝の光が何もなかったかのようにさしこんで来た。……………

1999年9月9日、未知の遊星ラーメタ
4

ルが地球に衝突するという危機が…

長い眠りから目覚め、1000年に1度の
6

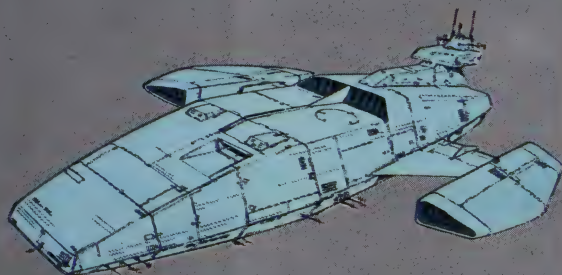
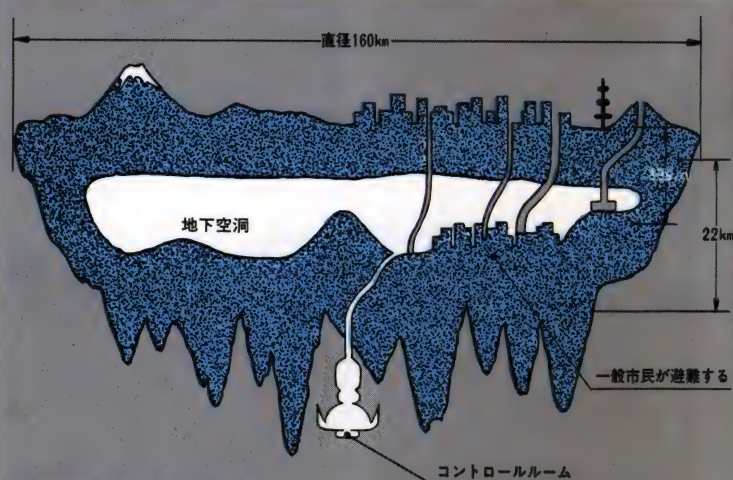
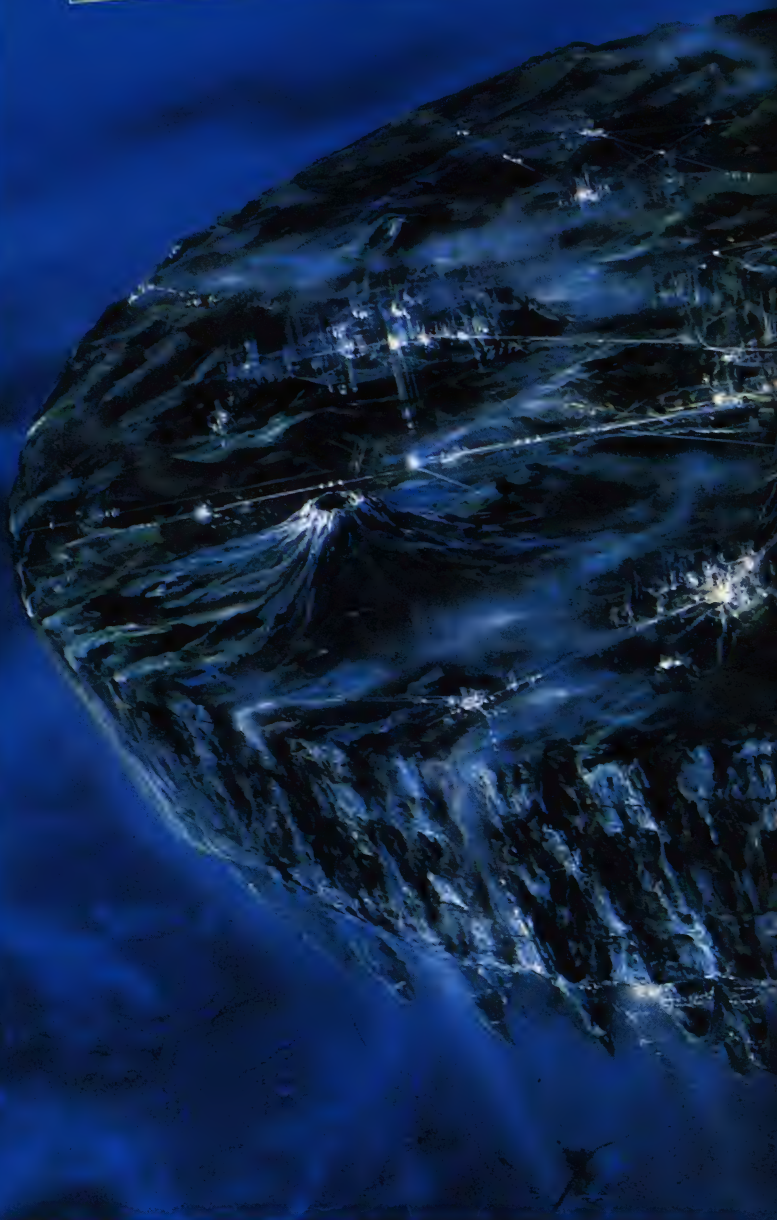
春が訪れる…1000年に1度の春が…

人の世の愛を知って、人の世の喜びを知って、

人の世の悲しみを知って私は消えてゆく…
8
9
10

Queen Millennia

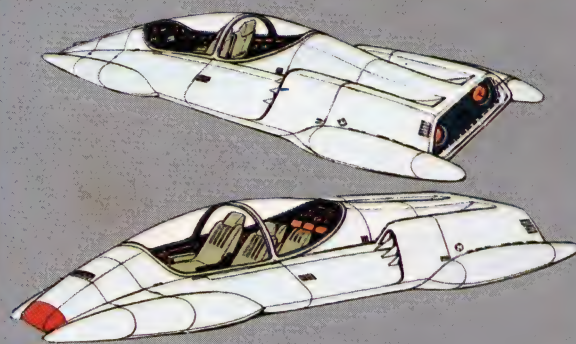
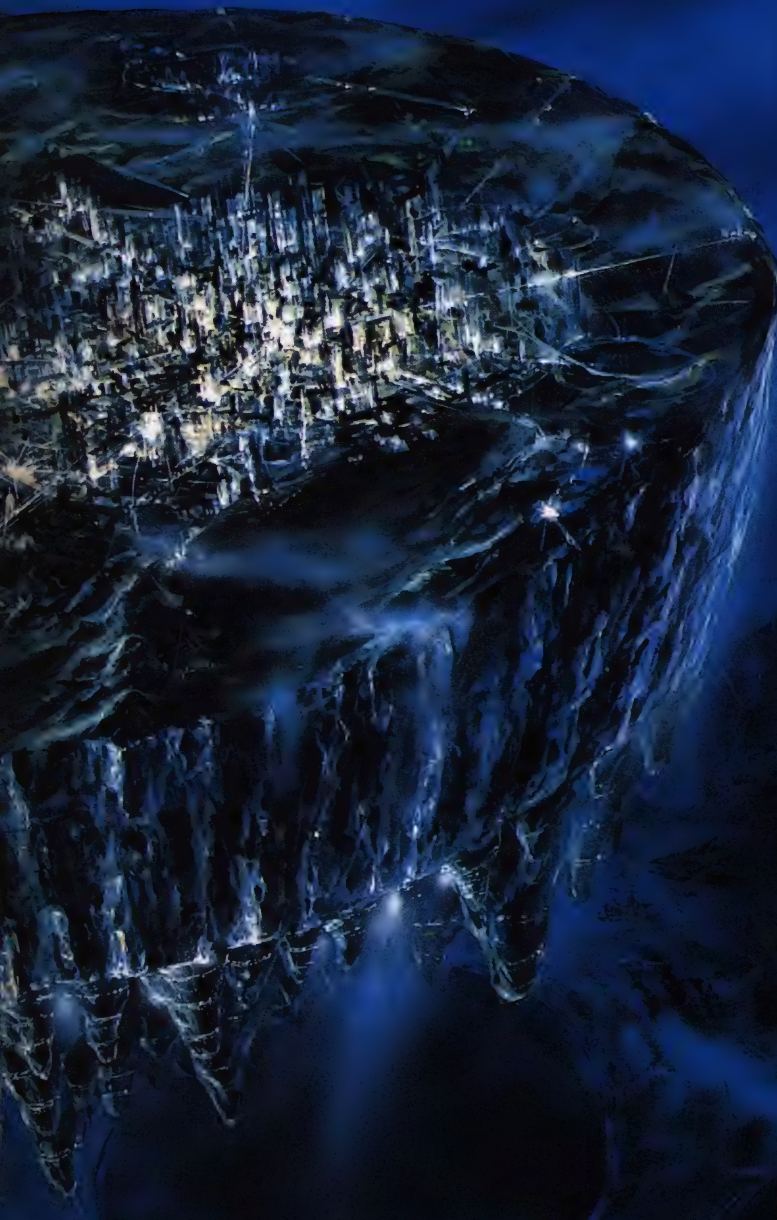
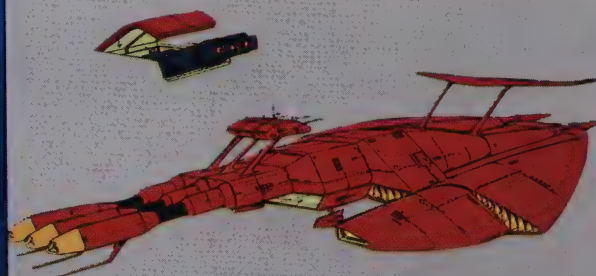
Queen Millennia

Queen Millennia

大迫力で登場

●歴代1000年女王・ヒミコの宇宙船

●歴代1000年女王・楊貴妃(ヨウキヒ)の宇宙船

●歴代1000年女王・クレオパトラの宇宙船

●地球人エリートの脱出船

大空洞船断面図

したメカ群！

●弥生が利用している乗用車

●ラーメタルの大破壊艇

●ラーメタルの戦闘機

●北は上越の清水トンネル、西は富士山、八ヶ岳をカバーする直径約160kmの関東平野がそのまま1000年女王がひきいるノアの方舟となる

●反物質をエネルギーとする大型母船用の反物質エネルギー震動発生器を動力として空へ舞いあがる。

♥目を閉じると思い出す「1000年女王」あのセリフ……

「ファラ――！」
「1000年の冬は長かった。だが、こうして甦り、君の姿を見ると、時が流れたことを忘れてしまう―」
「ファラ――！」
歩み寄って、いとおし気に抱き合う。
―――半透明のファラ。
「もうすぐ逢える。――このような影でなく本当に逢える」
影と抱き合いながら1000年女王に変化する弥生。
ファラは1000年女王にくちづけする。
それを静かにおしのけて
「ファラ、教えて下さい、本当のことを―――!?」
「―――？」
「ラーメタルは本当に地球へ被害を出しそうなのですか？」
「プロメシュームII世。余計なことを考えることはない。――迷うこともない。早く帰って来るんです」
「しかし―――」
「プロメシューム―――！」
と、再び抱き寄せた時、大衝撃が襲う。
「あ――っ！」
と、よろめく。
ファラも消える。

ミライと始の歩く通路の両脇に青い火が幽幻の音に誘われるようにゆらめき、はるか奥までつづいている。
始は思わず不気味になってミライへ寄り添う。
「ミ、ミライさん―――」
よく見ると、その両側に並んでいるのは、冠をいただく者、無冠の者が、古代エジプト風、古代大和朝廷風の衣裳を着た女の立像である。
それは、何百体、何千体と並んでいる。しかもそれは、ミイラ化したり白骨化したりしているが、まるで生きているかのよううに美しく、みずみずしい。
「偉大なる1000年女王――。歴代の1000年女王の亡骸です。1000年にお一人づつこの世に降りて来られて――、この地上で命つきた女王達の、ここは墓所――」
「1000年に一人づつ――？」
「もちろんお命をまっとうされて、天上へお帰りになられた女王も沢山いらっしゃいます。ここにいらっしゃるのは、帰ることなく、地上で亡くなられた方――。地球を愛し、帰ることを拒んで地上の土となることをお望みになった方の御遺体―――」

幽幻の音が高まり、まるで黄泉の国をさまようかのような幻覚にとらわれる始。

入って来る始。
広いホールのような部屋。――その中央に階段があり、その最上部の王座にいる光輝く者。姿は明らかではないが、女性であるらしい。――実は1000年女王。
まぶしそうに見つめて、息を飲む始。
1000年女王は、優雅な身ぶりで手をさしのべ、始を招いている。
「さあ、いらっしゃい、心やさしい、勇気ある地球の子―――」
「あなたは本当に1000年女王ですか―――？」
うなずく1000年女王。
「逢いたかったんだ。――女王さん、地球を助けてもらいたいんだ！」
決心して階段を昇る始。――
ついに昇りつめると、光が薄れて女王の姿がはっきりとして来る。

この場面…… 名場面 シナリオ抜粋

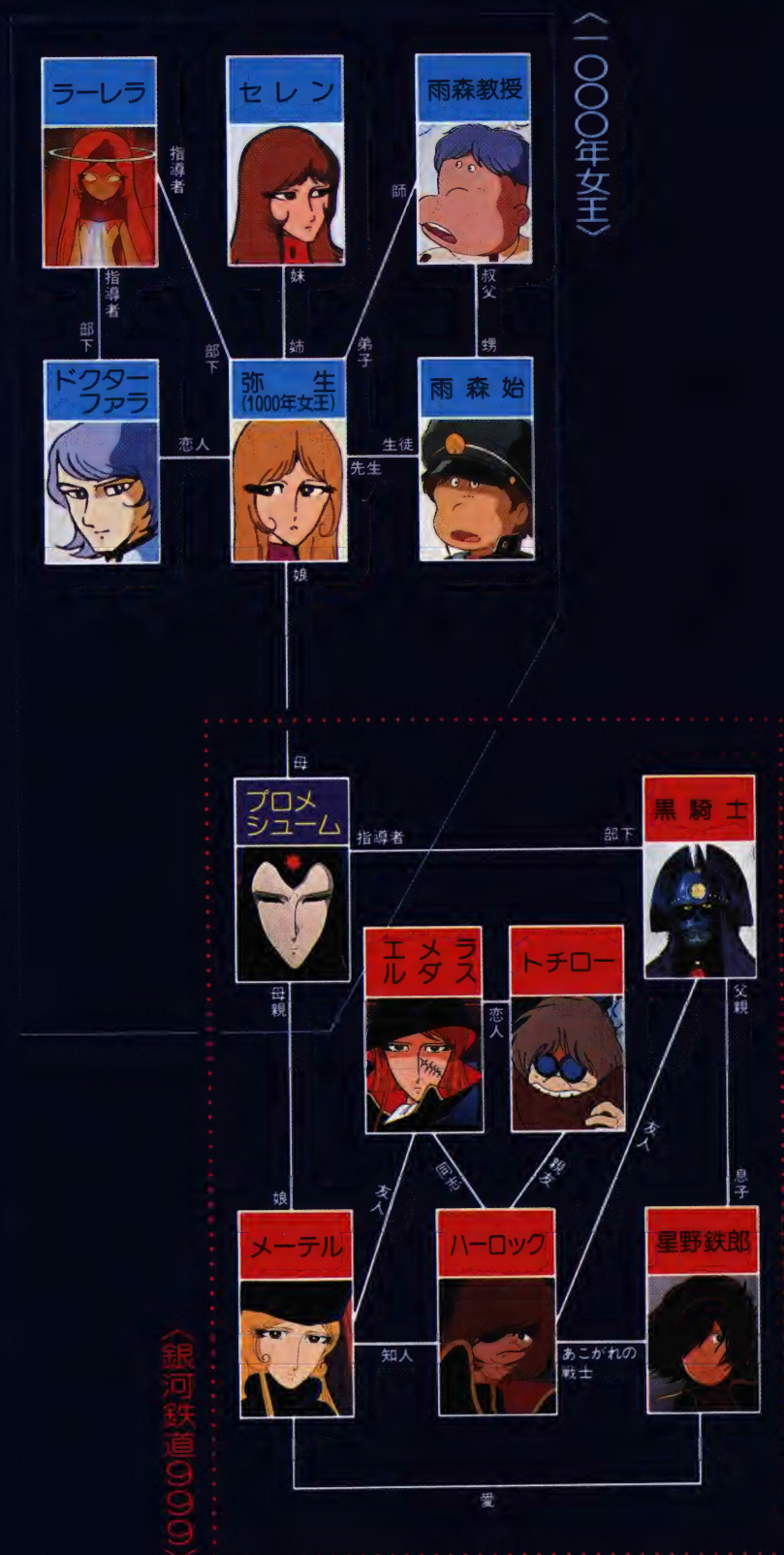
「ラーメタル人は、死ぬと姿が変わる。―――春が終れば本当の姿に戻る―――」
「先生も―――？」
ふと永久管理人が近づいて来て、
「お別れをしてあげなさい」
思わずたじろぐ始。
じっと見つめる管理人。
始、やっと決心したように顔を上げる。
「先生は――、地球のために――、僕達の未来を思って――、守ってくれたんだ。今お別れをいわないと――、一生後悔する。」
そういうと1000年女王の棺へ歩み寄って行く。
白布におゝわれている1000年女王の遺体。
ひざまつく始。
永久管理人がひざまつき、その顔の部分の布をめくり上げる――
しかしその顔は観客に見えない。
始、一瞬強張り――、次第に目がうるんで来る。
「これが、この人の素顔――。」
じっと見つめている始。心をうたれて――、
「――こんな綺麗な人―――、みたことがない。（と、呟く）」
「有難う。―――少年よ」
と、始の肩へ手をおき、
「人の世に生まれ変わりというものがあるなら――、あなたとこの人は――、遠く時の流れの接するところで――、愛しあう人としてまためぐり逢うことがあるでしょう。―――私はそう信じたい」
じっとうずくまっている始。

＊松本零士の世界のキャラクター関連図

〈1000年女王〉

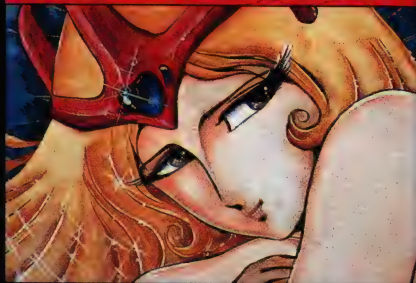
ラーレラ　セレン　雨森教授
指導者　部下　妹　姉　師　弟子　叔父　甥
ドクターファラ　弥生（1000年女王）　雨森始
恋人　先生　生徒
娘

〈銀河鉄道999〉

母
プロメシューム　黒騎士
指導者　部下
エメラルダス　トチロー
恋人
母親　父親
娘　友人　同志　親友　友人　息子
メーテル　ハーロック　星野鉄郎
知人　あこがれの戦士
愛

松本零士のファンタジー・ロマンを支えるのは、何といっても強い個性をもったキャラクターたちだ。キャプテン・ハーロック、クィーン・エメラルダスなど、おなじみの魅力あるキャラクターのイメージが、どんどん大きく広がって、「銀河鉄道999」、そして「1000年女王」につながっていく。それは、松本アニメが一つ一つ孤立した作品ではなく、それぞれが共鳴しあって生きているからだ。「銀河鉄道999」と「1000年女王」の関係を明らかにすることで、きっと松本アニメの秘密のヒントが得られるだろう。

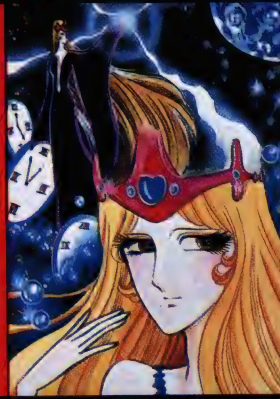
映画公開記念キャンペーン
「タイトル大作戦」より

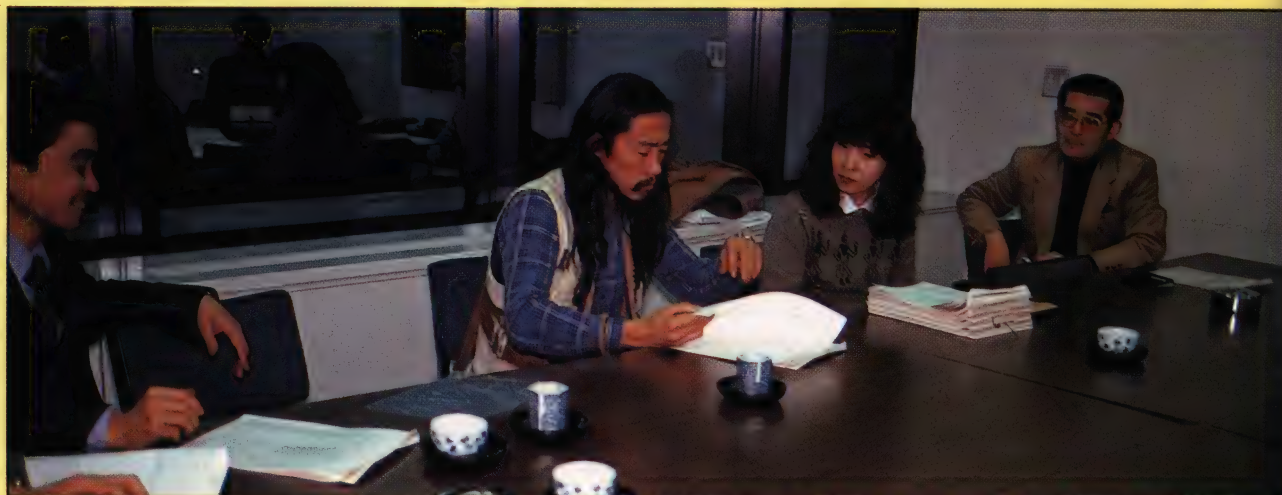
応募イラスト優秀作品集

♥千葉県習志野市　山下久子

映画「1000年女王」のエンディング用にファンの描いたイラストを募集したところ、全国の「1000年女王」ファンから、ぼう大な数の力のこもったイラストが送られてきました。
寄せられたイラストの中から、松本零士さんはじめ関係者が、１ヵ月もかかって優秀作1000点を選びました。審査基準は「独創性」に重点をおきましたが、選ばれた1000点の中から、ここに一部の方のを抜粋して掲載しました。投稿して下さったみなさん、本当にありがとう！（順不同・敬称略）

♥埼玉県川越市　根本和泉

♥広島県賀茂郡　中村昭文

♥福岡県福岡市　原美千代

企画から完成まで〜

「プロデューサー日誌」（抜粋）
プロデューサー 横山賢二

55年5月×日
テレビ「銀河鉄道999」の後番組として、「新竹取物語1000年女王」が決定した。原作はスリーナインと同じ、松本零士先生のスペースロマンものである。映画も57年春には公開したいとのこと。またスタッフはスリーナインに全力投球中であるし、原作の連載も始って日が浅い。「これは大変なことになるぞ」と予感する。

7月×日
深夜、松本先生の零時社を訪ねて、作品の方向性、ストーリーの展開、キャラクターの性格づけなどの打合せに入る。だが先生もあい変らず忙しく、劇場用スリーナインの他にもシリーズのラスト5本のプロットも抱えて苦労している。しかしこちらも強引にねばる。その結果、テーマと頭の5本のストーリーを何とかまとめ上げ、次の約束の時間をきめて帰る。

11月×日
テレビの1000年女王の準備は、スタッフの努力の結果、スムーズに回転しだした。松本先生も時間をさいて意見を出してくれ、全体像がつかめるところまできた。キャストや各キャラクターのイメージもほゞ固ってきた。11月11日放送の「松本零士スペシャル」の中でのイメージトレーラーも絶賛を浴びた。「これはいける！」と秘かに思う。

11月×日
映画のスケジュールを持って、松本先生の自宅に伺う。56年中にフイルムを完成させるためには、何としても年内にプロットが必要だ。ライターの藤川氏も手を空けて56年頭から執筆する用意を整えている。
その前に、スリーナインの5本のプロットを上げてもらわねばならない。
「先生、本当にお願いしますよ！」
私の気持も多少あせり気味である。

12月×日
テレビの方の1000年女王の脚本と設計図、美術ボードなどの打合せの合い間をぬって、毎日、松本先生のスタジオに通ったり、電話を入れている。ところが、今日は先生の方から電話が入ってきた。「スリーナインのプロットが上りましたよ。」急いで先生のスタジオに出向く。「ところで先生、映画のプロットはどんなもんでしょうか？」「やってはいるんですが、もう少し時間を下さい」
さて、正月は田舎に帰れるものやら…？

56年1月×日
昨年暮、正月休みを返上して、1000年女王のプロットを書くと言う先生の言葉を信じて、帰省したが落ちつかない。早速電話を入れてみると、先生の父上が亡くなって、九州に帰ったと言う、私も休みを切り上げて上京する。
もう一度、スケジュールを検討しなければならないかも知れない。

3月×日
待ちに待った1000年女王のプロットが、アップした。早速清書に廻しライターと打合せに入る。映画版はテレビと視点を変え、弥生から見た作品になっている。新聞、テレビ、映画と、これで三者三様の1000年女王が誕生することになる。
テレビの1000年女王は順調に初号が上り、関係者の試写会を開く。大好評で希望が持てる。あとは4月16日のスタートを待つばかりである。

5月×日
映画版1000年女王の第二稿が上り、検討会を開く。意見が次から次へと出るのを、松本先生はじっと聞いていたが、もう一度、構成の立て直しをさせてくれと言う、スケジュールがないのにこれではお先真暗であるが、作品の出来が重要なので、スケジュールを延ばしても止むを得ないと判断する。

6月×日
脚本は第4稿迄行っているが、キャラクターと設定がまだ上らない。スタッフは監督に明比、作監に山口、美術に角田、勝又の線で落ち着きそうだ。強力なスタッフ編成が出来たので超大作が期待出来る。
1000年女王製作委員会も強力にバックアップしてくれているので心強い。

7月×日

連日、スタッフとの会議だ。皆んな真剣で徹夜になることもある。脚本の方もあと一息で完成だ。音楽の方も喜多郎氏に決定した。松本先生のキャラクター、設定も上ってきだした。

8月×日

零時社で喜多郎氏と打合せ。喜多郎氏、アニメ初挑戦とあって、熱っぽく抱負を語る。

シナリオも準備稿になり、いよいよスタートだ。社長から「死んだ気でやれ！」と激励（？）される。

10月×日

原動画も少しであるが上ってきて、スタッフの目の色も変ってきた。松本先生の設定もほゞ完了。キャストに対しても２回程オーデションを行う。スチール、予告編の打合せも終り、色彩の統一も出来た。

57年１月×日

スタッフが正月休みを返上して頑張ってくれたお陰で、年末に予告編もスポットも完成した。11月29日の声優コンテストも盛大に行われ、男女各一名選出、本番が楽しみだ。

喜多郎氏の音楽も、素晴らしい出来栄えだ。

57年２月×日

タバックでアフレコが始まる。潘恵子、戸田恵子、野沢那智…、どの顔も緊張して、監督の指示を聞いている、松本先生も眠い目を輝かせて、絵の動きを追っている。

マスコミ関係者も多数見えた。

57年３月×日

０号が現像所で行われた。私としては10本近く劇場作品をプロデュースして来ているが、今日ほど感激した日はない。ともすれば、涙で画面が雲りがちである。関係者の皆さん、スタッフ、キャストの方々、本当に御苦労様でした。

＊わたしたちも燃えました…

潘　恵子
（女王・弥生）

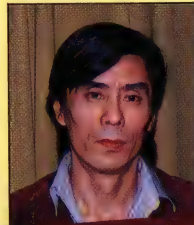
私はテレビでも弥生をやらせてもらいましたけれど、テレビでは一話一話の先が全く分らないし、終りも勿論分らないので、どうなるのかとワクワクしたり、ハラハラしたり…。けれど、今回、劇場のはラストシーンも分ってから声を入れるので、その分弥生と1000年女王のふたつの味を出しやすかったということはいえます。映画では弥生、1000年女王から見た作品になっているので特に気を使いました。でも、恋人のドクター・ファラも登場して、楽しかつたです。

戸田恵子
（雨森　始）

テレビシリーズのキャラクターを、そのまま映画で出来るのはしあわせです。劇場映画だと、画面も声もテレビに比べたら大きいので、それだけ映画だという実感がわいて、やりがいがありました。ともかく映画が好きなんです。

始は強くなった部分もあるし、男っぽくなった部分もあるんですが、でもやっぱり幼いというところがあるので、非常に簡単なようで難しかったですね。いまは、始の気持がよく分るし、ストレートなところなんか好きですね。

麻上洋子
（セレン）

松本零士先生のアニメーションの中で、「銀河鉄道999」のガラスのクレアと「宇宙戦艦ヤマト」の森雪は、気持をおさえるようなキャラクターでしたけれど、今度のセレンは、「さよなら銀河鉄道999」メタルメナのような、思ったこと、感じたことを素直に、ストレートに出してしまうキャラクターでした。私の中にも、やはり、この２つのものがあるような気がしました。自分の中の、この片方の面を出せるようにといった気持で一所懸命やりました。皆さん、何度も見て下さいね。

野沢那智
（ドクター・ファラ）

絵を見ていると、二枚目すぎて困っちゃうんですけど、心の中の葛藤という、人間の常に変わらない問題をもっているので、その二分されたものを、そのままうまく出せればと思ってやりました。

それと、テレビに出てる人に代って、映画で私がやるっていうのがいちばん嫌なんですが、ドクター・ファラっていうのは、映画だけに出てくるのでよかったですね。

また、同じ劇団の連中と一緒にやるとテレちゃうんで困りました。

古谷　徹
（夜森大介）

夜森というのは冷酷な中にも温かさをもつ男というより、ホットなんじゃないかと、テレビとの違いを思いました。それは女王を秘かに想っているという線が入ったからです。そういう非運な定めを背負って生きる男の生きざまっていう方が、人間的な面が出てくるので、非常に燃えました。ただ、人間臭く演じるといっても、松本先生のアニメに必要なスマートさを忘れずに演じるよう心掛けました。

映画の夜森大介は、今までやったことのない種類のキャラクターでしたね。魅力ありましたよ。

「1000年女王」を作った人……………………松本零士

昭和13年、福岡県久留米市に生まれる。本名・松本晟(あきら)
8歳のときから漫画を描き始め、手塚治虫などの世界を吸収し、新聞などにさかんに投稿。昭和28年、15歳のとき「密蜂の冒険」にて漫画少年第1回新人王(長編漫画)に選ばれる。
大学受験に失敗し失意の日々を送るが、少女雑誌からの依頼原稿が相次ぎ、昭和33年、一念発起して上京。本郷三丁目に下宿する。以後、約5年間ここに宿む。この経験が、将来〝大四畳半シリーズ〟など、愛とペーソスに満ちた作品として開花する。
この頃から精力的に作品を発表し、少女漫画から少年漫画へ、そして戦記もの、SFの四次元シリーズなどと、次々とジャンルを拡げ、その才能をいかんなく発揮した。松本零士というペンネームは、少女漫画と少年漫画とを描き分けた昭和40年、初めて使用された。
昭和46年、第13回講談社漫画賞、昭和53年、第23回小学館漫画賞、日本漫画家協会特別賞を受賞。現在押しもおされもしない人気漫画家だ。
代表作品は「セクサロイド」「四次元世界シリーズ」「元祖大四畳半大物語」「男おいどん」「宇宙海賊キャプテン・ハーロック」また、映画化された作品の中に、日本全国を大ブームの渦に巻き込んだ「宇宙戦艦ヤマト」(77)、「さらば宇宙戦艦ヤマト」(78)、「銀河鉄道999」(79)、「ヤマトよ永遠に」(80)、「さよなら銀河鉄道999」(81)があり、'82年夏には「わが青春のアルカディア」が予定されている。

心を酔わせる名曲を作った人…………………喜多郎

1953年愛知県豊橋市出身。本名は高橋正則。
高校を卒業後、ロック・グループを結成し、ベース、キーボードを始めとしてあらゆる楽器をこなすマルチプレイヤーとして活動していた。
宇宙や自然との触れ合いをこよなく愛す彼は、富士山麓二合目で2年間生活した後、閑静な歴史の町鎌倉に居を構えた。'78年に初の自作自演のシンセサイザー組曲「天界」を発表し、〝マインド・ミュージック〟という新しい音楽のジャンルを開拓した。その真髄は聴く人の心とそれを演奏する人の心が一つの線で結ばれた世界にあり、心の安らぎを与え自然に回帰させる力を持つ音楽で、難しい理論など全く必要としない感性の音楽なのである。
キャニオンレコードに移籍後の79年9月、新宿厚生年金小ホールに於て、シンセサイザー40台を駆使した世界初のシンセサイザーコンサートを行ない絶賛される。更に、80年春より始まったNHK特集「シルクロード」の音楽を担当。これにより名実共にシンセサイザー界第一人者の地位を確立し、以後「シルクロード組曲」「敦煌」など同番組のサントラ中心のアルバムを続々と発表し、数少ないコンサート活動にもかかわらず、ヤング層を中心に絶大な人気を博している。
'80年に鎌倉を離れ、長野県八坂村の山中に俗世界を避けて籠もり、現在もそこに築かれた独自の小宇宙空間の中で隠遁生活を続けながら、創作に励んでいる。
'80年代を代表する最もナウーいミュージシャンであろう。

♥スタッフ

主題歌
「星空のエンジェル・クイーン」
作詞　MOKO NANRI
作曲　喜多郎
編曲　David Foster & 喜多郎
歌　Dara Sedaka(デラ・セダカ)
(キャニオン・レコード)

メカニック作画監督…………金田　伊功
作画監督補佐……………………青山　充
原　画……………………………今川よしみ
〃　……………………………落合　正宗
〃　……………………………長崎　重信
〃　……………………………正延　宏三
〃　……………………………中島　忠二
〃　……………………………的場　茂夫
〃　……………………………木下ゆうき
〃　……………………………清山　滋崇
〃　……………………………羽根　章悦
〃　……………………………遠藤　正治
〃　……………………………石黒　昇
〃　……………………………高橋　信也
〃　……………………………鍋島　修
〃　……………………………野田　卓雄
動画チェッカー…………………武井　恒雄
〃　……………………………山崎　唯文
動　画……………………………佐藤　恭子
〃　……………………………伊藤　水穂
〃　……………………………岡田　潤
〃　……………………………矢地　久子
〃　……………………………三谷　節子
〃　……………………………岡安　敏子
〃　……………………………五十嵐鈴子
〃　……………………………池田　紫
〃　……………………………大島　孝美
〃　……………………………上野阿津子
〃　……………………………倉島　由美
〃　……………………………北条　千夏
〃　……………………………坪谷　優子
〃　……………………………松村　啓子
〃　……………………………加藤　良子
〃　……………………………上野茂々子
〃　……………………………飯田　浩美
〃　……………………………鈴木　弥生
〃　……………………………南　友子
〃　……………………………井上　弘子
〃　……………………………高橋のり子
〃　……………………………北野由美子
〃　……………………………高田　和子
動　画……………………………杉山　典子
〃　……………………………大村まゆみ
〃　……………………………長縄　宏美
〃　……………………………三木　佳人
〃　……………………………中島　泰代
〃　……………………………田中　勇
〃　……………………………片岡恵美子
〃　……………………………河野　宏之
〃　……………………………小坂ちえみ
〃　……………………………芹田　明雄
〃　……………………………山田　浩之
〃　……………………………山田　徹
〃　……………………………松本美代子
〃　……………………………小野寺真由美
〃　……………………………佐藤真佐子
〃　……………………………黒見　好子
〃　……………………………奥野　明代
〃　……………………………こむら直美
〃　……………………………久保田裕子
〃　……………………………岸本　良子
〃　……………………………根岸　博文
〃　……………………………吉田　健二
〃　……………………………江野沢柚美
〃　……………………………高遠　和茂
〃　……………………………阿部　卓司

見ごたえのある映画を演出した人……………… 明比正行

昭和12年３月17日、愛媛県の城下町松山市に生まれる。

地元の松山南高校在学中より、授業をサボって映画を観に行く程の映画狂であった。昭和30年に上京して日本大学芸術学部文芸学科に入学。勉学の傍東映撮影所で助監督を経験し、卒業と同時に同撮影所に入社した。その後６年間は、給料日割りの下積み生活を送り演出の基礎を学んだ。

名匠今井正監督「越後つついし親不知」のセカンド助監督を最後に劇映画畑を離れ、現在の東映動画に転勤。そこで「狼少年ケン」の助手を経て、「魔法使いサリー」「ひみつのアッコちゃん」といった少女もの中心の仕事をした。更に、ロボットアニメの全盛期には、「マジンガーＺ」「グレートマジンガー」「ゲッターロボ」などを監督。それらの劇場公開版の演出も担当し、意欲的な活動を続けた。

「惑星ロボダンガードＡ」で人気最高頂の松本零士アニメとの係わりが始まり、「キャプテン・ハーロック」「銀河鉄道999」のテレビシリーズの演出に参加した。

'80年の正月映画「サイボーグ009・超銀河伝説」(石森章太郎原作）で、初めて劇場用長編アニメーションを監督。壮大な宇宙に展開される愛と戦いのドラマは、多くのアニメファンを魅了した。

劇映画で培った演出技法は、実写とアニメーションの区切りを超えて、今回の長編２作目にあたる「1000年女王」に生かされ、松本アニメの集大成として完成された野心作となっている。

清らかな美声で主題歌を唄った人………………デラ・セダカ

1964年生まれで現在17歳のデラは、'60年代初め、「恋の片道切符」「オー・キャロル」「カレンダー・ガール」などのヒット曲を生み、近年メロディー・メーカーとして増々活躍を続けるニール・セダカの愛娘。

幼児期のデラは、現在のマネージャーでもある母親から徹底的な音楽教育を受け、尊敬する父を目標としながら歌手を夢みていた。12歳の時、父の出演するショーにゲスト出演して大好評を得、プロデューサー、デヴィット・フォスターの眼に留まり２年後初のシングル『マイ・ガイ』(日本未発表）でデビュー。若い彼女のデビューの陰には、レイフ・ギャレット、デビー・ブーン、ショーン・キャシディといった若手歌手の成功があると思われる。その後、RSOレコードと正式契約を結び、女性歌手デラ・セダカが誕生した。

'80年８月に、憧れの父とのデュエットで「面影は永遠に」を発表。この曲は、ニール・セダカがリリースした同名アルバムからのシングル・カットで全米では大ヒットを記録。そして「1000年女王」の主題歌がデラの踏み台となることは間違いない。

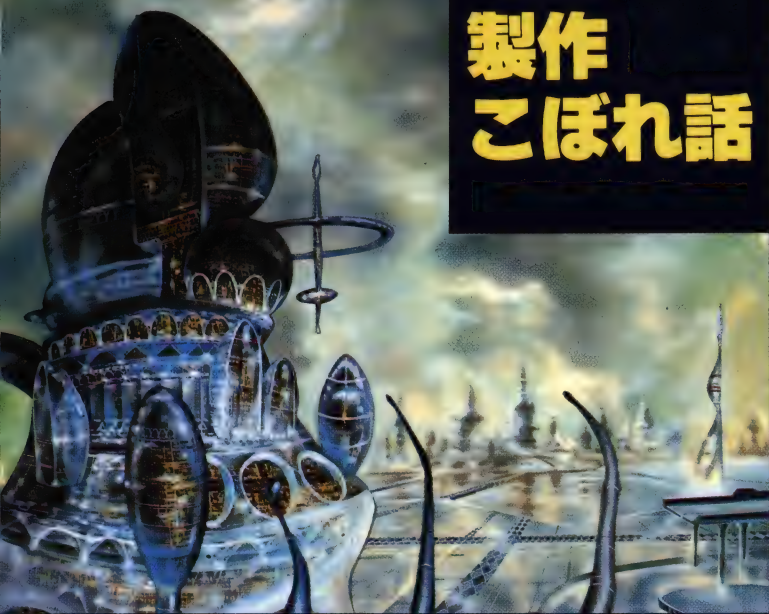
デラの将来の希望は、歌手として一本立ちし、そればかりでなく学業も続けていくこと。そして、父親ニールと共同で仕事をし続けていくことである。音楽一家に育った経験を持ち、音楽を心から愛し続けるデラは、今後増々飛翔する期待の新人と言える。

動　画……永井　恵子
〃……柳野　龍男
〃……牧野　行洋
〃……梅津　泰臣
〃……本宮　真弓
〃……野口　昇子
〃……三上　貴文
〃……石原　嘉子
〃……井手　武生
〃……笹原　圭子
〃……渡辺　明美
〃……横川たか子
トレース……入江三帆子
〃……五十嵐令子
彩　色……関口　好子
〃……増川千鶴子
〃……藤橋　清美
〃……後藤美津子
ゼログラフ……酒井日出子
〃……林　昭夫
特殊効果……岡田　良明
〃……平尾　千秋
仕上検査……衣笠　一雄
〃……塚田　劭
美術助手……千々波美恵子

背　景……市原　勝義
〃……日渡ひろみ
〃……小板橋かよ子
〃……野々宮恒人
〃……小林　佑子
〃……今村　立夫
〃……梶谷　雅夫
〃……黒部　洋子
〃……赤保谷則子
〃……飯島久美子
〃……勝又アイ子
〃……田中　資幸
〃……石原　明子
〃……上村　協子
監督助手……池田　裕之
〃……大久保唯男
記　録……池田紀代子
製作進行……伊藤　文雄
〃……松富　哲雄
仕上進行……松原　明徳
美術進行……阿久津文雄
〃……服部　達也
進行主任……関口　孝治
撮影監督補佐……清水　政夫
撮　影……池田　重好

撮　影……片山　幸男
〃……高梨　洋一
〃……相磯　嘉雄
〃……町田　賢樹
〃……目黒　宏
〃……武井　利晴
〃……福井　政利
〃……帯刀　至
〃……坂西　勝
効　果……松田　昭彦
録音スタジオ……タバック
現　像……東映化学
宣伝プロデューサー……徳山　雅也
宣　伝……野口　敦男
〃……浅川　恭行
〃……橋本　悦雄
〃……鈴木智恵子
パンフレット・エディター……池羽　規夫
デザイン……原　美恵子
協力／ニッポン放送
フジテレビ
サンケイ新聞
キャニオン・レコード

写真協力 サンケイ出版/発行 1000年女王製作委員会/企画・編集 株式会社メイジャー

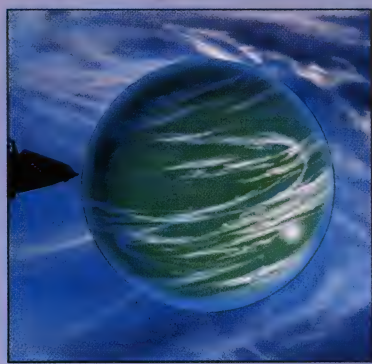
製作こぼれ話

「シルクロード」の鬼才、喜多郎がシンセサイザーを駆使して新しい宇宙を造った！

仕事場に訪ねてきた音楽担当の喜多郎氏と語る松本零士氏

全編をつつむ、無限の広がりと幽玄のロマンを持った音楽は、シンセサイザー奏者・喜多郎によって生み出された。

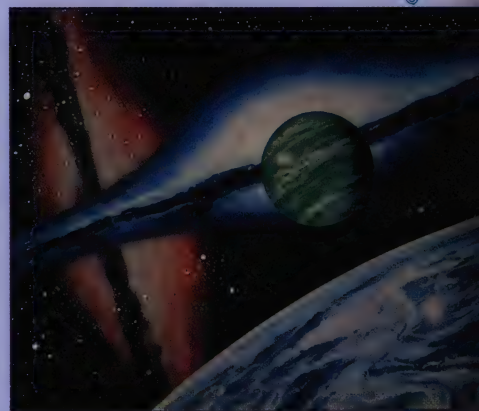
北アルプスを望む長野県八坂村の、雪と風と空気の静寂の中で、ひとり、1000年女王のイメージと各々のキャラクターを追いかけ、没頭することによって初めて生み出された音楽だ。

四方を山と木に囲まれた藁葺き屋根の下には、13台のシンセサイザーがいついかなるときでも電源をONにして待っている。それは毎朝6時に起きる喜多郎の、フッと生まれるイメージを、すぐに録音という作業によって定着するためだった。また山仕事や大地に鍬を入れるとき、雪の中に吸い込まれていく自分自身の声から、アッと思ったときに録音されていった。

また、イメージした音を得るために、ドラムやベースなどの楽器を初めとして、音の出るものはあらゆるものが使用され、シンセサイザーも各々の個性によって使い分けられた。そして、ひとつの音を生み出すのに、何と約60回ものダビングがくり返されたというから想像を絶する。まさに無限の中から、一瞬にして作りだす芸術だ。その秀れた感覚から、世にもすばらしい「1000年女王」の音楽が出現した。

天文台巡りで大宇宙研究

映画の中で重要な舞台となる筑波天文台、こんな天文台は実際にはないが、筑波という所はあるし天文台も勿論あるので、できるだけふたつのイメージを生かそうとスタッフは検討を重ねた。その結果筑波山に東京天文台を乗せてしまおうということで意見が一致、車を連ねて筑波山と秩父の堂平にある東京天文台に取材に出かけた。裾野に広がる筑波シティの大きさはどの位にしたらよいかなどを調べたのはよかったが、肝心の筑波山が男の山と女の山があったためどちらに天文台を乗せようかとスタッフ同士大もめ。

また、三鷹にある東京天文台でスタッフを驚かせたのはその設備。ドデカイ望遠鏡をのぞくようにして観測するのかと思っていたら、今はほとんどが電子機器。望遠鏡もモニターに映し出された映像を見るだけだし、レーザー観測機も小さくて、装置も机位の大きさのコンピューター・ボックスがあるだけ。回りにドライバーや電気の本が置かれているといった変わり様。しかし、三鷹の天文台やNASAとオンラインになっていると聞かされ二度ビックリ。反射望遠鏡を動かしたりして大宇宙をのぞき、スタッフ全員「1000年女王」の大宇宙スペクタクル・シーンの大参考になったと大喜びの1日だった。

地球と遊星の接近遭遇シーンに新技術！

1000年女王にふさわしい大スケールのエンディングにと考え出されたのが、地球と遊星が接近遭遇したとき発生するまばゆいばかりの2つの銀河の大交錯。すい込まれるようなスリル感満点の映像は、多重撮影を利用した特殊技術で、星空のち密な絵に、カメラを近づけたり遠ざけたり、スピードを変えて何度も多重露出することによって成功した。

撮影の細田民雄氏が何度もプラネタリウムに足を運び、イメージをふくらませ新しい撮影技術を模索したのがこの成果につながった。

「スター・ウォーズ」や「スタートレック」に負けないスペース感とスピード感は見るものを興奮させること間違いない。

初めての公開記者会見

記者会見場で、左から明比監督、今田社長、潘恵子さん、松本零士氏、戸田恵子さん、喜多郎氏

製作・配給会社が、報道関係の人たちに作品の内容を発表するのが製作記者会見だ。それまでにも、専門誌などで少しは資料が紹介されるが、正式に門戸が開かれるのはこの時。

この「1000年女王」に関しては、一風変わった記者会見が催された。それは、従来は本職の記者の記者会見のみだが、このときは学生新聞、学級新聞、その他グループ紙などのアマチュアの豆記者にも公開しての記者会見が行なわれた。本職も顔負けの質問に、まわりを取り囲むプロ記者もビックリ。そして質問の鋭さに、答える側の出席者も汗だくだった。

1月9日(土)、毎年ドラフト会議の行なわれる東京のホテルグランドパレスで、マスコミ関係記者の会見が行なわれた後、第2部記者会見として、午後2時より全く同様の形式で若い学生記者を対象に行なわれた。ここに集ったのはユニークな新聞などの記者ばかり。少し拾っただけでも、「ナウい子新聞」「読みすて新聞」「2年4組みみより新聞」「ひょうきん新聞」など、グーなセンスで若いパロディー感覚がいっぱい。

会場入口には、オモチャの国から出てきたような衛兵が門番として立ち、会場内に足を踏み入れたとたん、高さ5メートル、幅10メートル余りの2階建てにも相当する、ドデカイ看板の1000年女王像が彼らを圧倒する。

やがて、場内は関東地区を中心に約200名の豆記者たちでうずまり、予告編の上映から開始された。そして、暗くなったままの会場に、スポットライトを浴びて、東映の岡田社長、東映動画の今田社長、松本零士先生、明比正行監督が、なんとタキシード、燕尾服姿で、そして潘恵子さん、戸田恵子さんがお姫様のような白いドレスで、そして喜多郎さんが登場した。さすが豆記者たちも、松本先生の燕尾服姿なんて初めてなのでビックリ。カメラの音がガシャガシャと鳴ったが、司会のくり万太郎さんに止められて落着いた。

出席者のあいさつが終った後、質疑応答となると、一斉に会場内に花が咲いたように手があがる。「TVとの違いは?」とか、「戸田さん、役づくりの苦労は?」とか、かなり専門的な質問が出て、周囲の本職のマスコミ記者を驚かせる。小学4年生の「なぜ、松本先生の描く主人公の女性は同じ顔なんですか?」という質問には、会場内がドッとわいたが、松本先生は冷静に、そして本当の気持を語っていた。「たしかに私のヒロインはいつも同じ顔です。それは私が一番愛した人をずっと描いているからです。愛した人はひとりなので、どうしてもその顔になります。顔は同じでも心はちがうようにしています。」この答えに、ウーンなるほどといったため息があちこちでもれていた。

喜多郎さんも質問を浴びて、「1000年女王とシルクロードにはどんなちがいがありますか」という質問には、「シルクロードは自然が対象でしたが、1000年女王は気持を表現しましたか」とまじめな返事。

次から次へと活発な質問が続いたがやがて、タイムリミット。つづいて記念撮影が行なわれて幕を閉じた。この記念撮影でも、学生たちが首から下げた最高級カメラの見事さに、本職の記者がまたまたビックリ。

こうして、日本で初めての試みとして催された公開学生記者会見は、大盛況のうちにアッという間に過ぎたのだった。

記者会見で出席者の写真をとる学生記者たちの熱中ぶり

1000年女王製作委員会の記録

1000年女王事務局 伊東 誠

●8人のプロデューサーと110人によるプロジェクトチーム

「1000年女王製作委員会」はフジサンケイグループと東映グループの共同プロジェクト。54年12月から28ヵ月にわたって新聞の原作、テレビのアニメシリーズ、そして映画の公開を進めてきた。

新聞とテレビアニメと映画は、それぞれ別々の作品。28ヵ月で3つの「1000年女王」ができたことになる。8人のプロデューサーと110人のプロジェクトチームのメンバーが「1000年女王」をつくってきた。

8人のプロデューサーは次の通り。

新聞／小池英夫(サンケイ新聞家庭文化本部長) テレビ／土屋登喜蔵(フジテレビ) 小湊洋市(東映動画) 映画／横山賢二(東映動画、テレビも担当) ラジオ／ドン・上野(ニッポン放送) レコード／野間敬男（キャニオンレコード） 出版／服部興平（サンケイ出版） MD／松林光彦(フジテレビ)

製作委員会の会長は原作者の松本零士先生。東映、東映動画、サンケイ新聞、フジテレビ、ニッポン放送、キャニオンレコード、サンケイ出版などの110人の各分野の人達が、いままでにないものを創ろうとアイディアを出しあい工夫をこらして行ってきた。

●アニメスペースカプセルに75万人、イベントに20万人、ファンクラブは5,000人

東京タワーの4階に特設した1000年女王のPRセンター「アニメスペースカプセル」(フジテレビスタジオ)にすでに75万人をこえる人達が訪れている。修学旅行や東京見物のあとに全国各地からと世界各国からやってきた人達が「1000年女王」を見ている。28ヵ月間に開催してきたイベントの数は70以上。イベントに集ったアニメファンは延べ20万人をこえる。これだけ長期間にわたって展開されたアニメイベントは他にない。

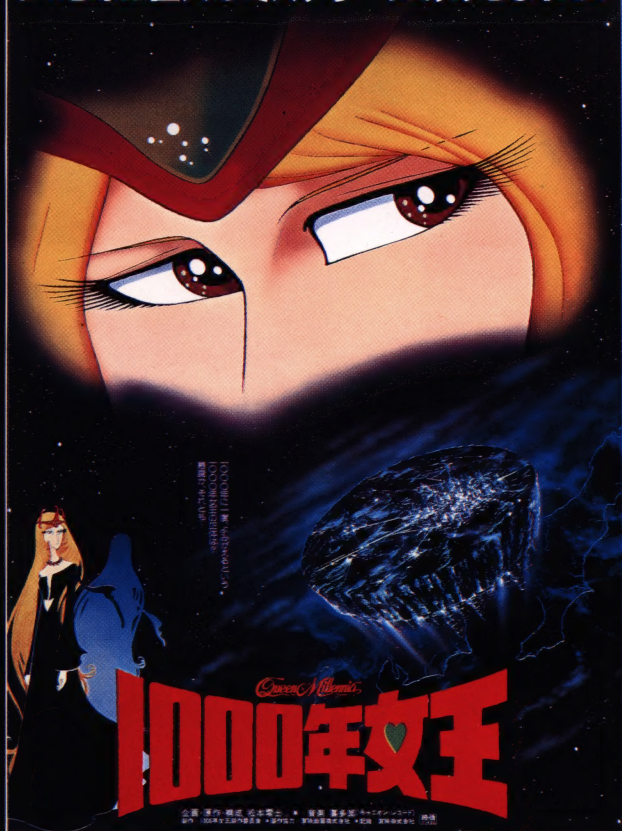
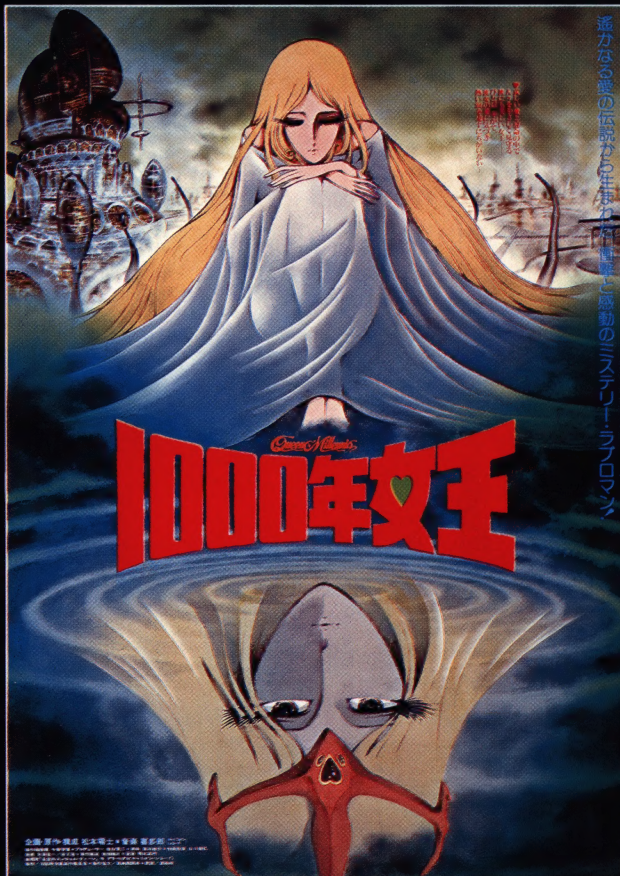
1000年女王ファンクラブ(本部・☎03-433-7350 東京タワーアニメスペースカプセル内)は北海道から沖縄まで全都道府県もれなくメンバーがいて5000人をこえている。会報を発行し、FCの集いを行い、アニメ商品などのサービスコーナーを設けていろいろな活動をしている。

54／12●委員会スタート
55／1 ●原作のサンケイ新聞連載スタート
55／3 ●西日本スポーツでも連載開始。
●「1000年女王」劇画版第1巻発売(サンケイ出版)
55／7 ●「1000年女王」七夕の夕べ一総決起集会(新宿ツバキハウス)
55／8 ●「日本の祭り」宇宙みこし参加（明治神宮外苑）
●「アニメスペースカプセル」発進！(東京タワー)
55／9 ●1000年女王のテーマ「星空のメッセージ」シングル盤発売（キャニオンレコード）
55／10●「アマチュア声優コンテスト」決勝大会(日比谷公会堂)

●1000年女王ファンクラブ本部スタート
55／12●1000年女王'81カレンダー発売
●1000年女王歌手募集グランプリ大会(東京・山野ホール)
グランプリ歌手＝高梨雅樹
56／2 ●「SKDひなまつり大会」(東京・浅草・浅草寺境内)

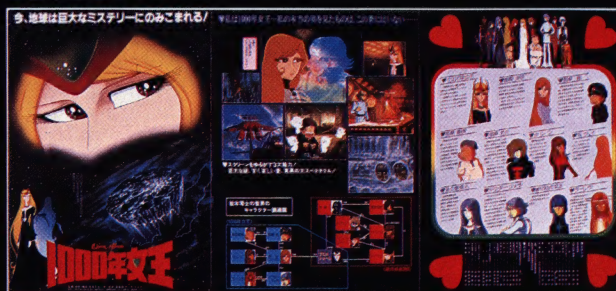
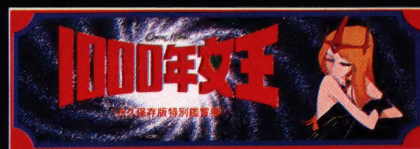
56／3 ●SKD「新竹取物語・1000年女王」レビュー、スタート
●テレビシリーズ主題歌「コスモスドリーム」「まほろば伝説」シングル盤発売（キャニオン・レコード）唄、高梨雅樹、石川まなみ
56／4 ●「1000年女王」ラジメーション4時間生ドラマ。オールナイト・ニッポン・スペシャル。
●テレビシリーズ、スタート（フジテレビ系全国ネット）
56／5 ●テレビコミックス第1巻発売(サンケイ出版)
●1000年女王ファンクラブ・ニュース第1号発行
56／7 ●「1000年女王祭り」(大阪・サンケイホール)

●「漫画博覧会'81」(東京・渋谷)
56／8 ●映画用、第1次前券予約開始（プラスチック型永久保存版）
●映画用 ポスター第1弾
56／9 ●新聞連載500回記念、東京タワーアニメスペースカプセルにて、ファンクラブの集い
●テレビシリーズLP発売
56／11●アマチュア声優コンテスト決勝大会(東京・九段会館)
56／12●'82版1000年女王星占いカレンダー発売
●映画第2弾ポスター
●映画用、第2次生フィルム入りしおり型発売
57／1 ●映画用、第3次前売券「愛のお守り」つき発売
●100万人タイトル大作戦展開
●松本零士・潘恵子・戸田恵子による全国キャンペーン開始（第1回横浜～3／上まで全国23地区）
57／2 ●「バレンタインデー・プレゼント」イベント、チョコで飾った新車をプレゼント！（東京・新宿西口）
●ミス「1000年女王CMガール」最終審査会（東京・ニッポン放送にて）
●主題歌歌手デラ・セダカ来日
●映画ポスター第3弾
●主題歌（星空のエンジェル・クイーン）シングル盤発売
●LP発売(キャニオンレコード)
57／3 ●「1000年女王・愛のフェスティバル」(東京・中野サンプラザ)
●シンフォニック・バージョンLP発売

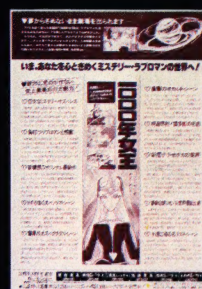
『1000年女王』宣伝材料集

●イメージポスター

●松本零士オリジナル・ポスター

●プラスチック製
特別限定前売券

●生フィルム入り
しおり型限定前売券

●通常の前売券

●プレス・シート(表面)

●前売券用袋

●スピードポスター

●前売券プレゼント用「愛のお守り」

●ちらし(ウラ)

81年の秋から、公開めざして宣伝が開始されましたが、その間、数々の宣伝物が作られました。どれもこれも記念になるものばかりですね。みなさんはこのうち幾つお持ちですか…

1000年女王●主題歌

星空のエンジェル・クイーン

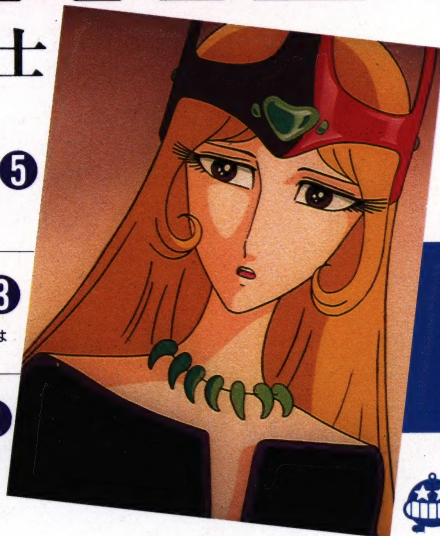
作詞/MOKO NANRI ■ 作曲/喜多郎
編曲/David Foster & 喜多郎

Floating down from the sky
Lovely Angel Queen it's you
Shaken from her long sleep
Lovely Angel Queen it's you
*Touching others like a child
Loving others for a while
Come and take my hand, my heart
In time we will be together

**When we will say goodbye
They'll be no tears for me
Time passes by so fast
I love you
I'll remember you forever

1000 years she rules the earth
Lovely Angel Queen it's you
Lighting flashes cold as ice
Changing everything she sees

(*repeat)
(**repeat)

主題歌の編曲者デビッド・フォスターとデラ・セダカ

「写真販売」

このパンフレットに掲載されている写真を通信販売いたします。ご希望の方は、映画名・ご希望の写真番号およびサイズを明記してご注文下さい。ご注文の受付けは昭和57年4月末日までです。

（例・1000年女王No.1 ポストカード1枚）

●料金（送料を含みます）

大きさ	料金
●ポストカード（14.3cm×9.9cm）	300円
●六ツ切り（24.0cm×19.0cm）	1,500円
●四ツ切り（29.0cm×24.0cm）	2,000円

●お申し込みは
東京都中央区銀座3-2-17 （〒104）
東映株式会社映像事業部商品事業室へ
TEL 代表03(535)4641